

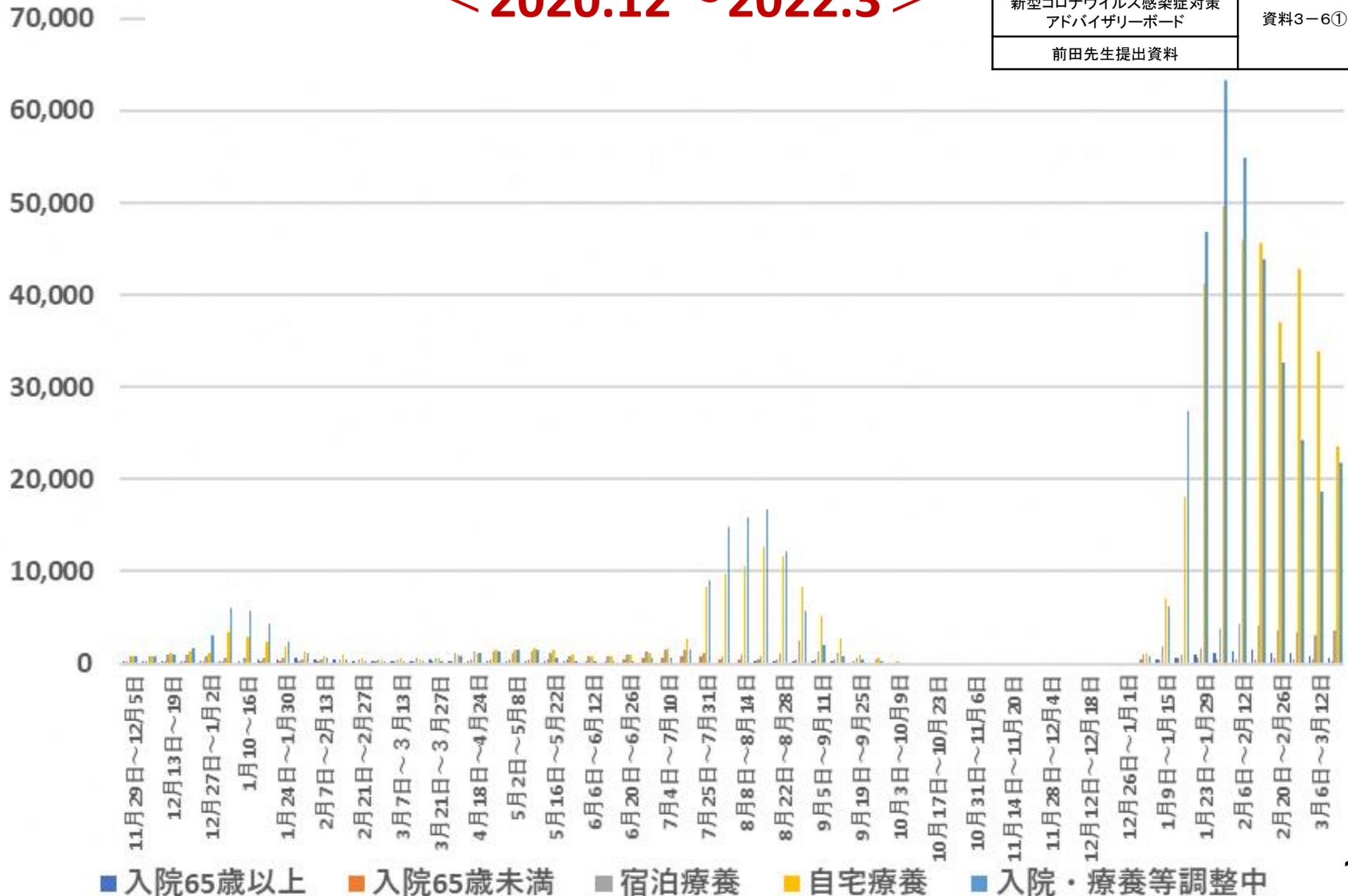
東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

< 2020.12 ~ 2022.3 >

第79回(令和4年4月6日)
新型コロナウイルス感染症対策
アドバイザリーボード

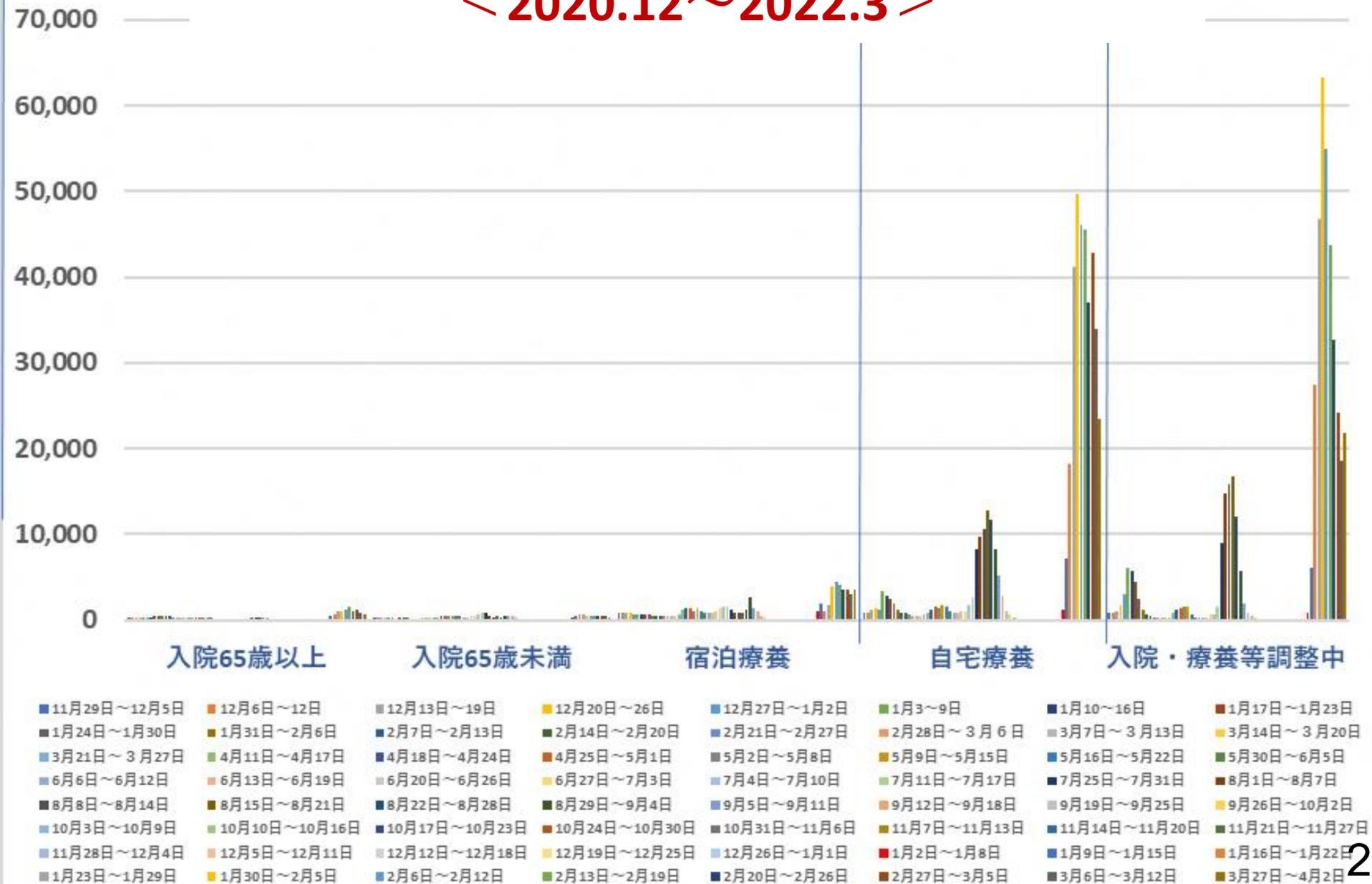
資料3-6①

前田先生提出資料



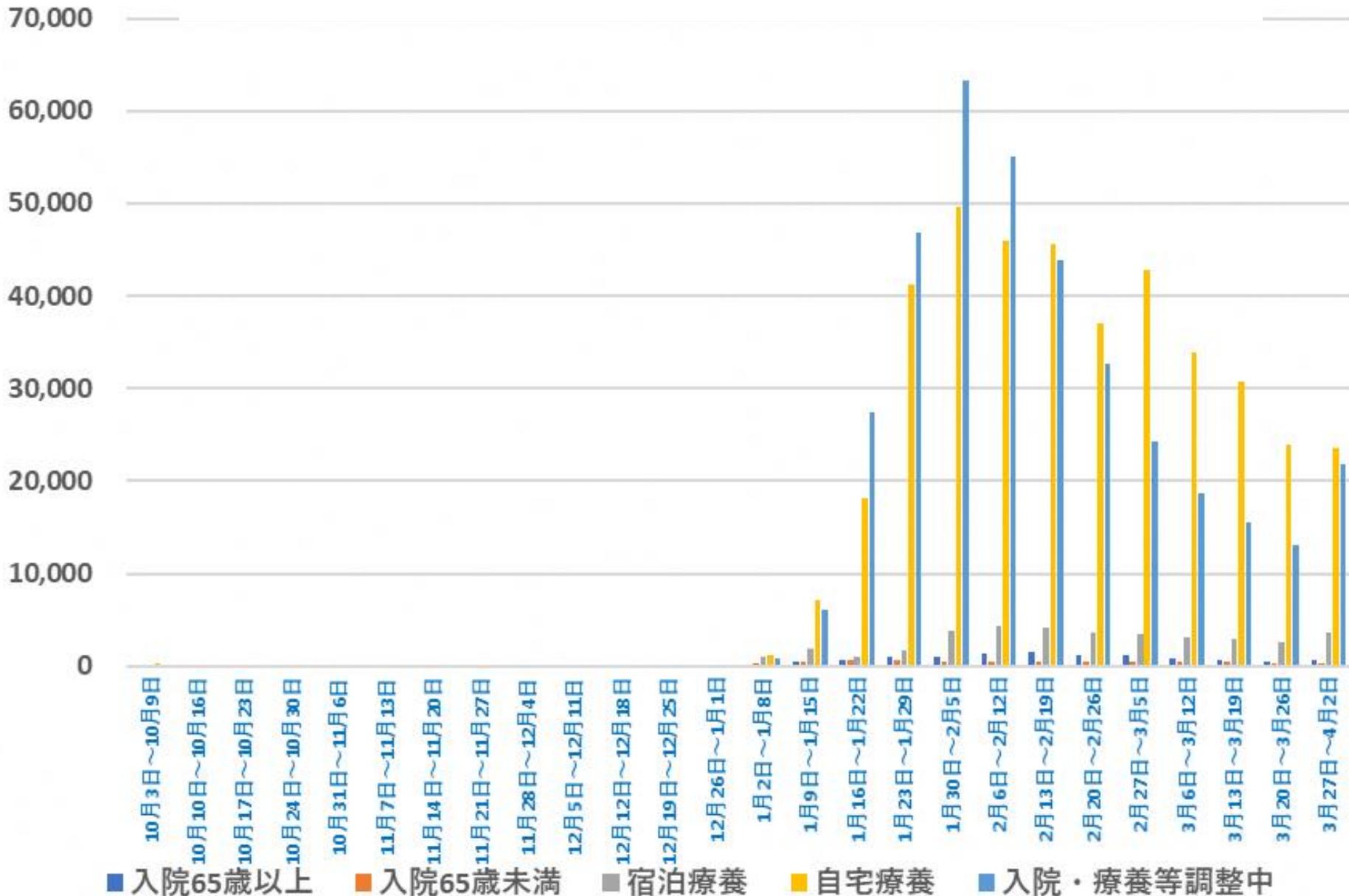
東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

< 2020.12 ~ 2022.3 >



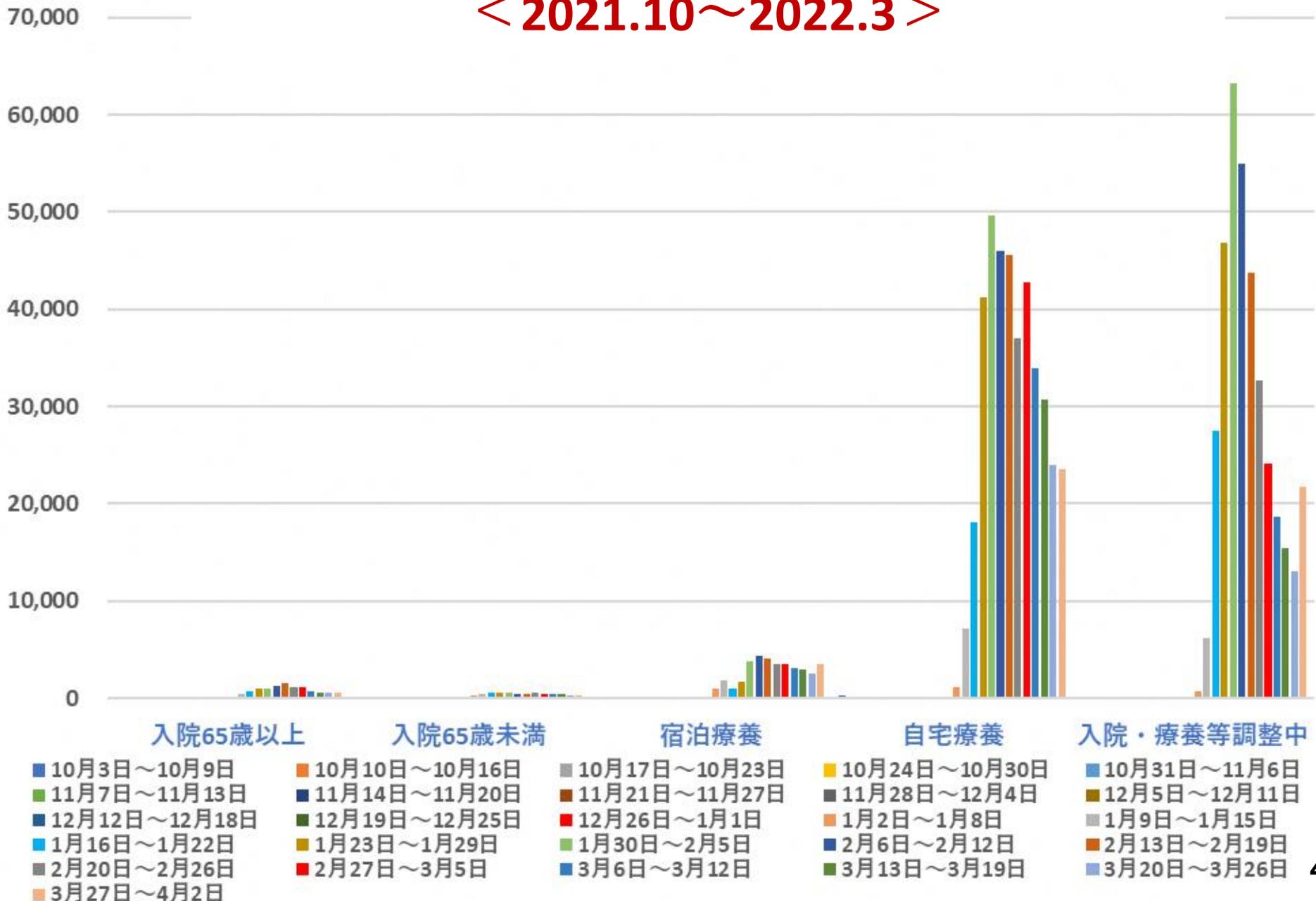
東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

< 2021.10～2022.3 >



東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

< 2021.10～2022.3 >



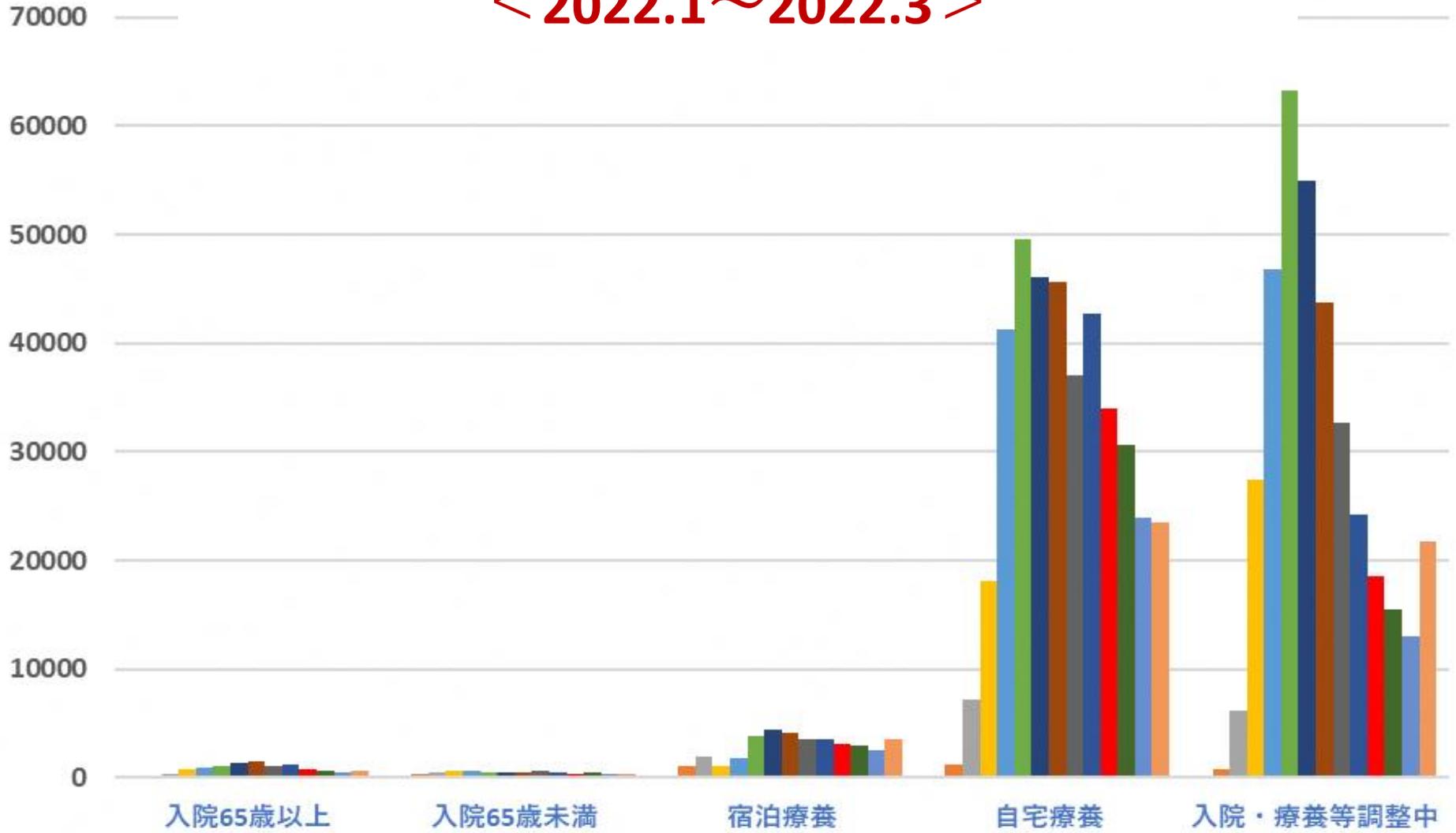
東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

< 2022.1～2022.3 >



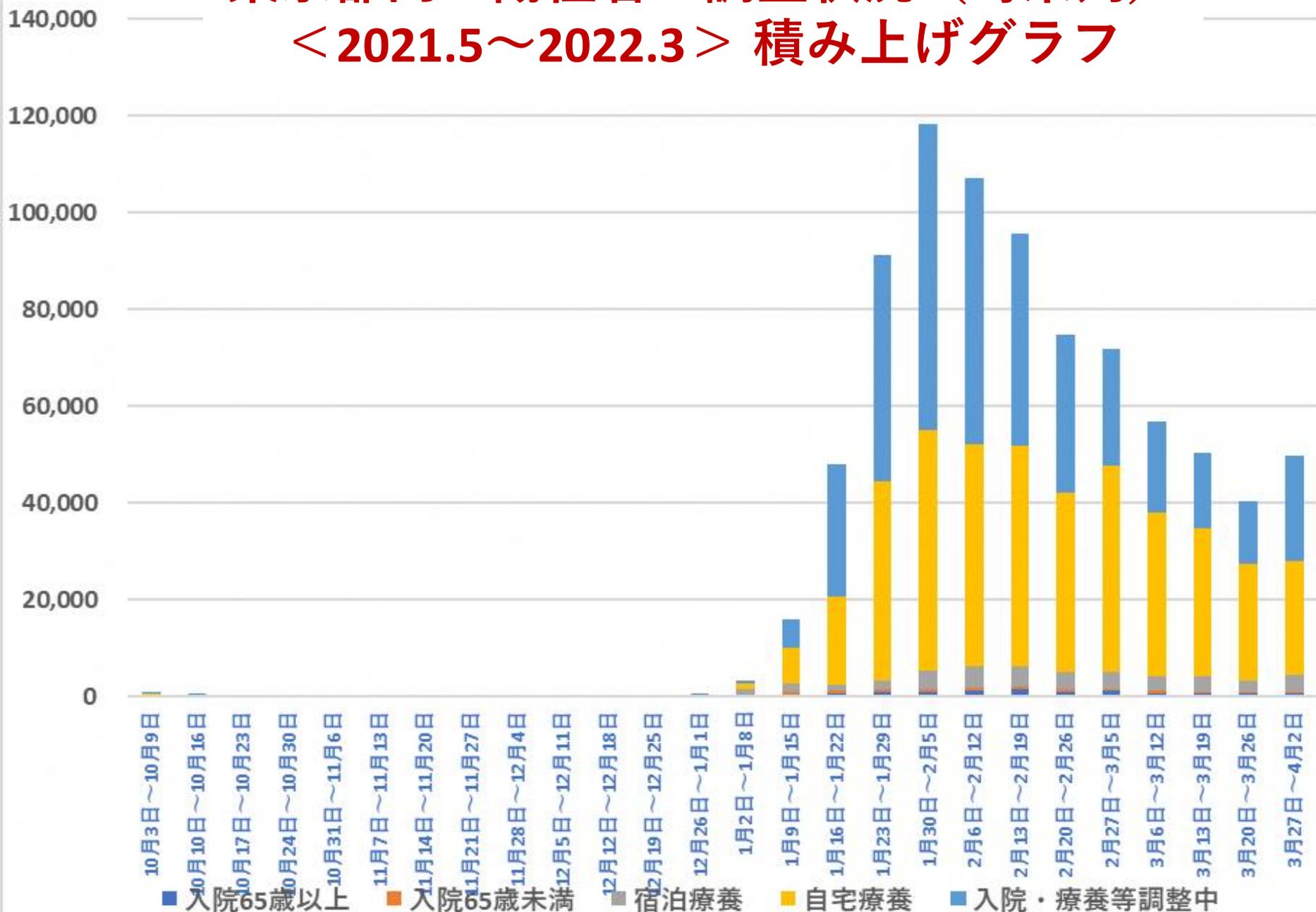
東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

< 2022.1～2022.3 >



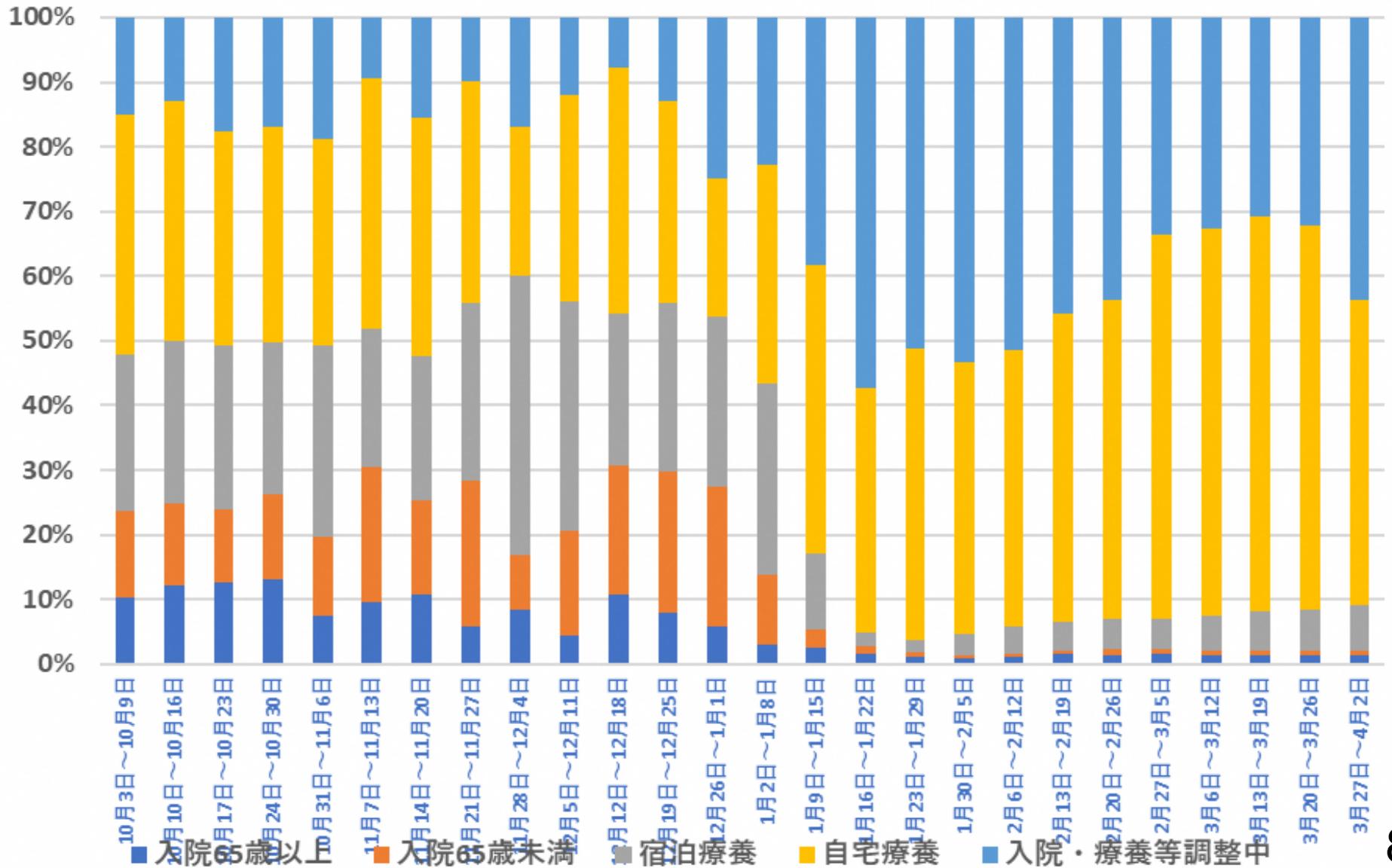
- 12月26日～1月1日
- 1月2日～1月8日
- 1月9日～1月15日
- 1月16日～1月22日
- 1月23日～1月29日
- 1月30日～2月5日
- 2月6日～2月12日
- 2月13日～2月19日
- 2月20日～2月26日
- 2月27日～3月5日
- 3月6日～3月12日
- 3月13日～3月19日
- 3月20日～3月26日
- 3月27日～4月2日

東京都内の陽性者の調整状況（時系列） < 2021.5～2022.3 > 積み上げグラフ

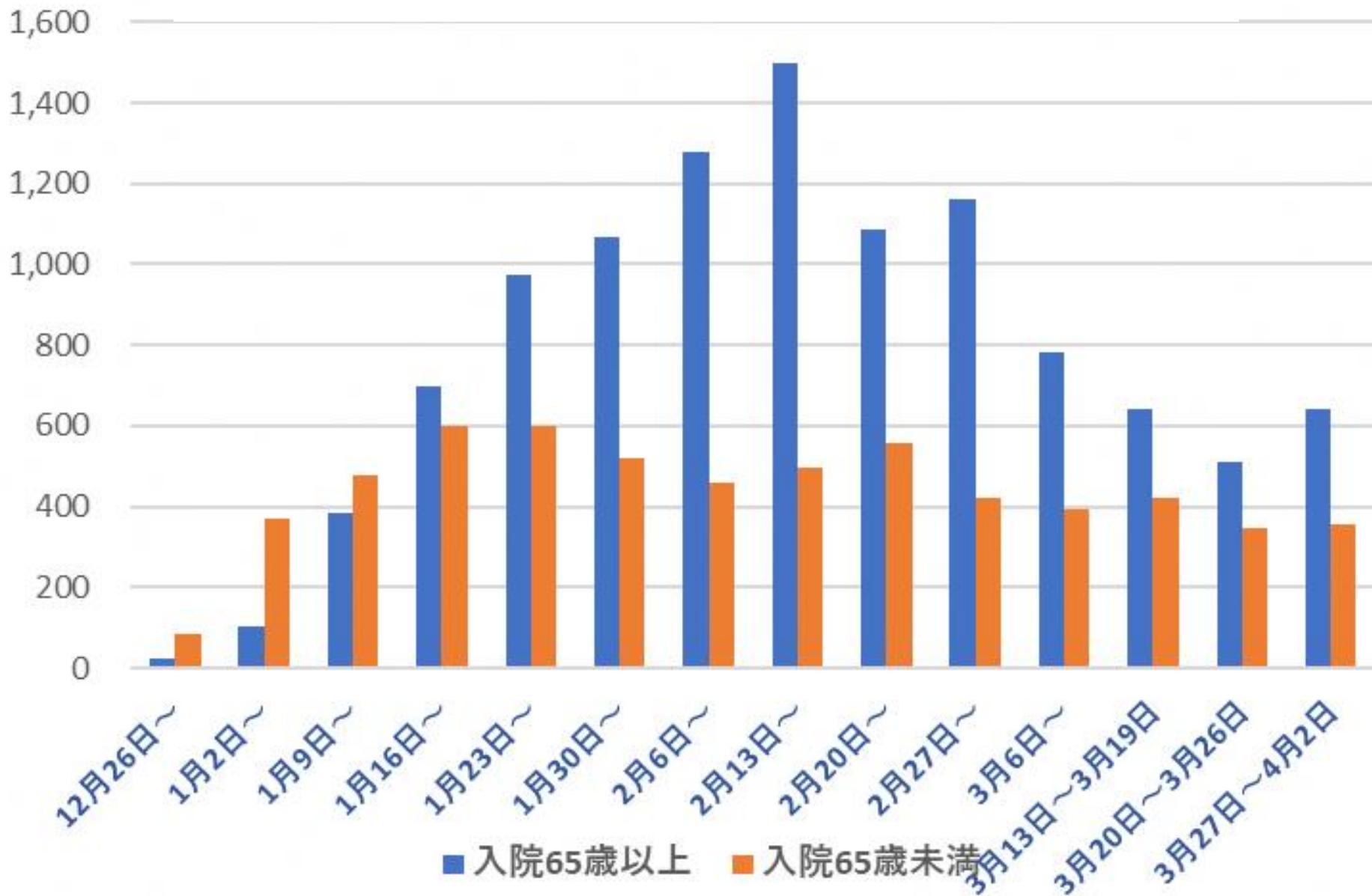


東京都内の陽性者の調整状況割合（時系列）

< 2021.5 ~ 2022.3 >

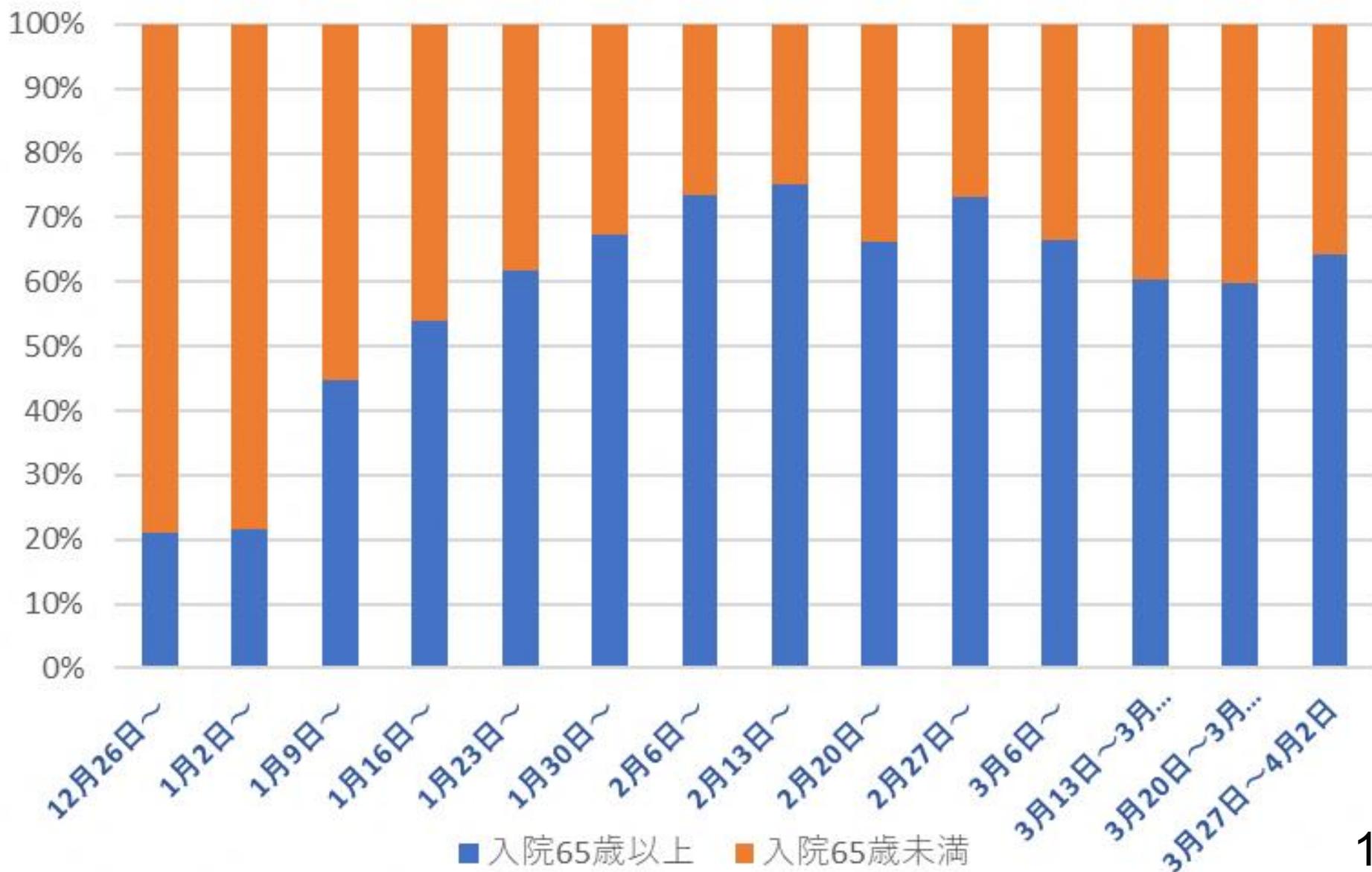


東京都内の陽性者の年代別入院状況 < 2021.10 ~ 2022.3 >

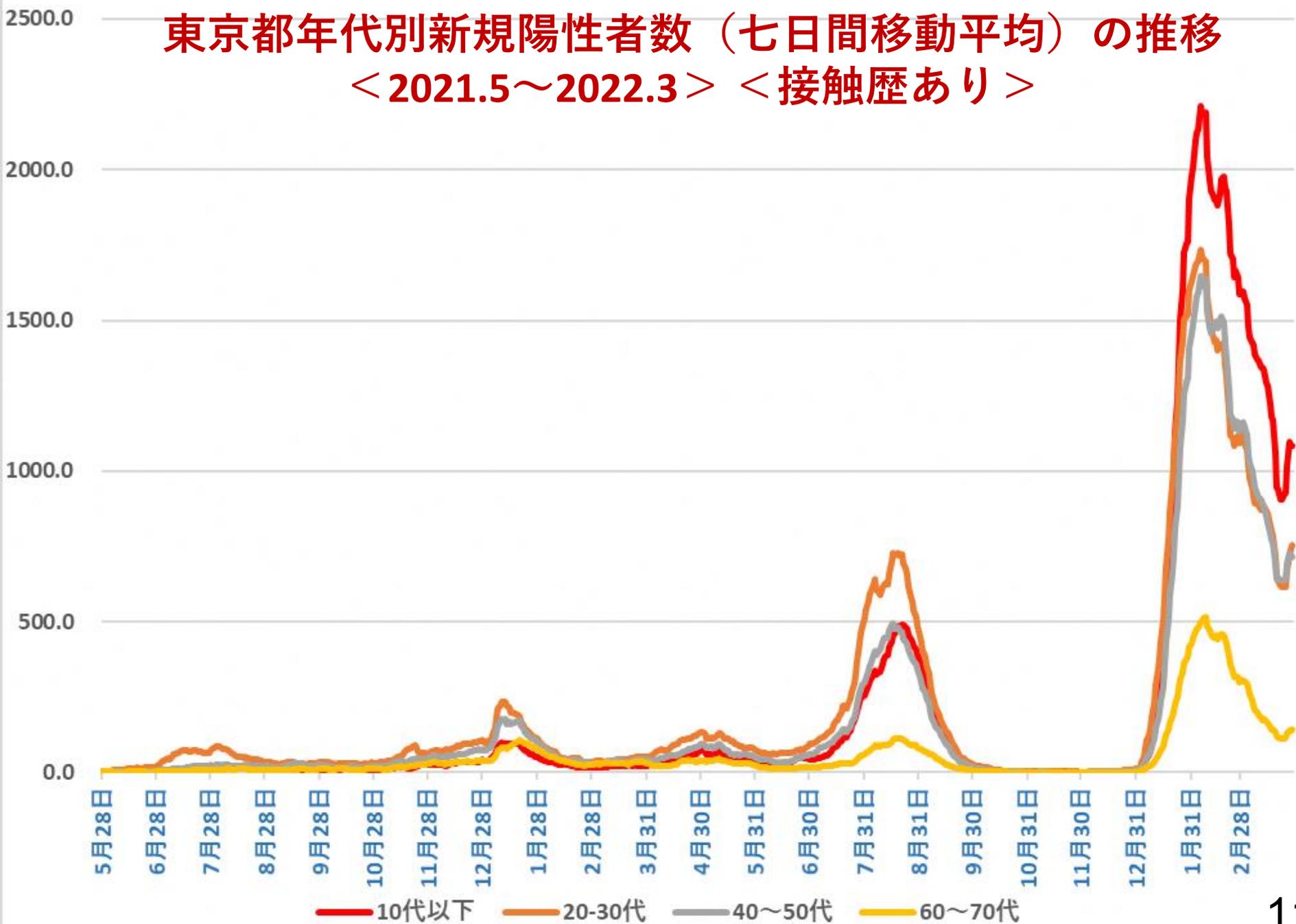


東京都内の高齢陽性者の入院割合

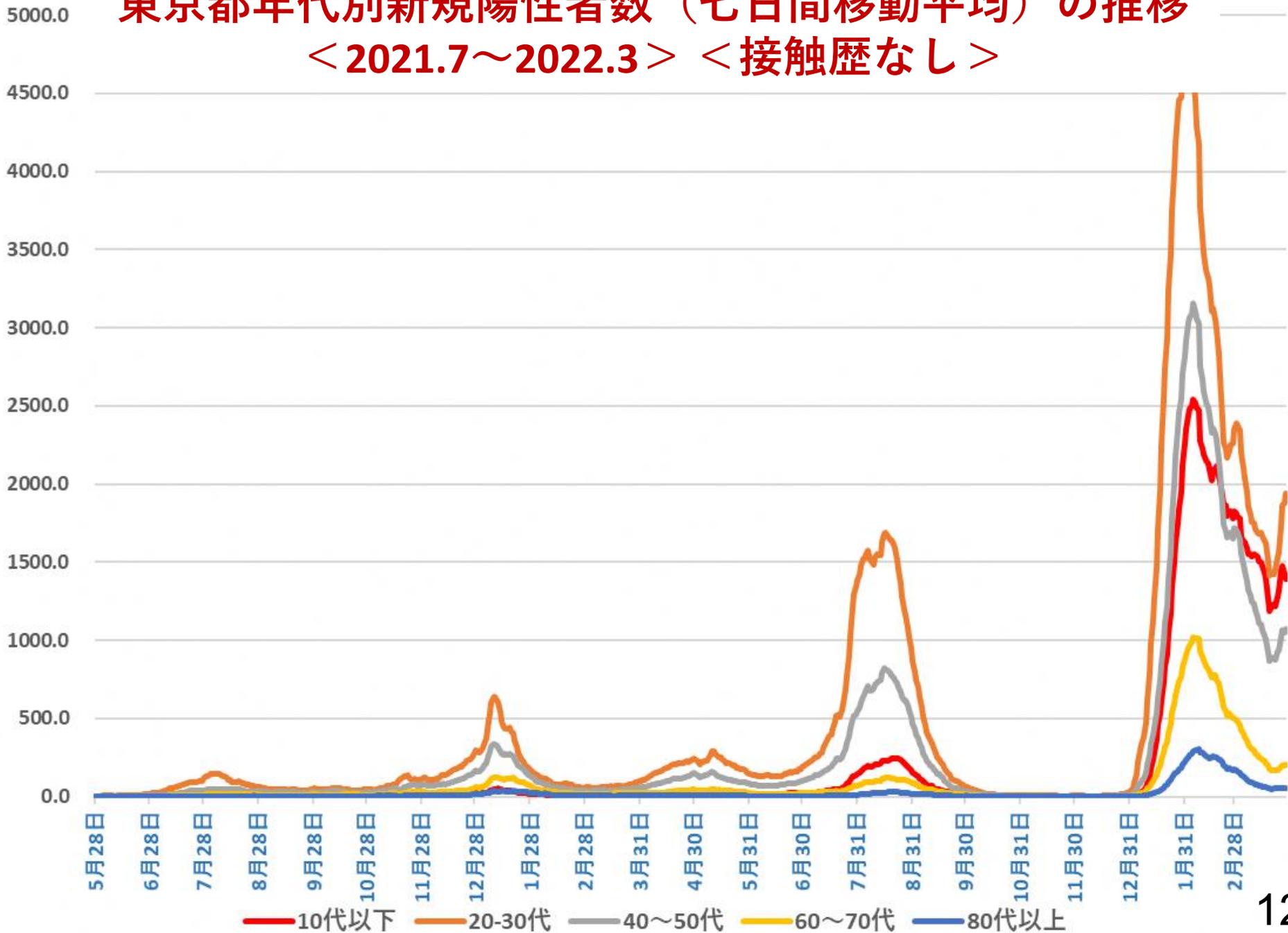
< 2021.10～2022.3 >



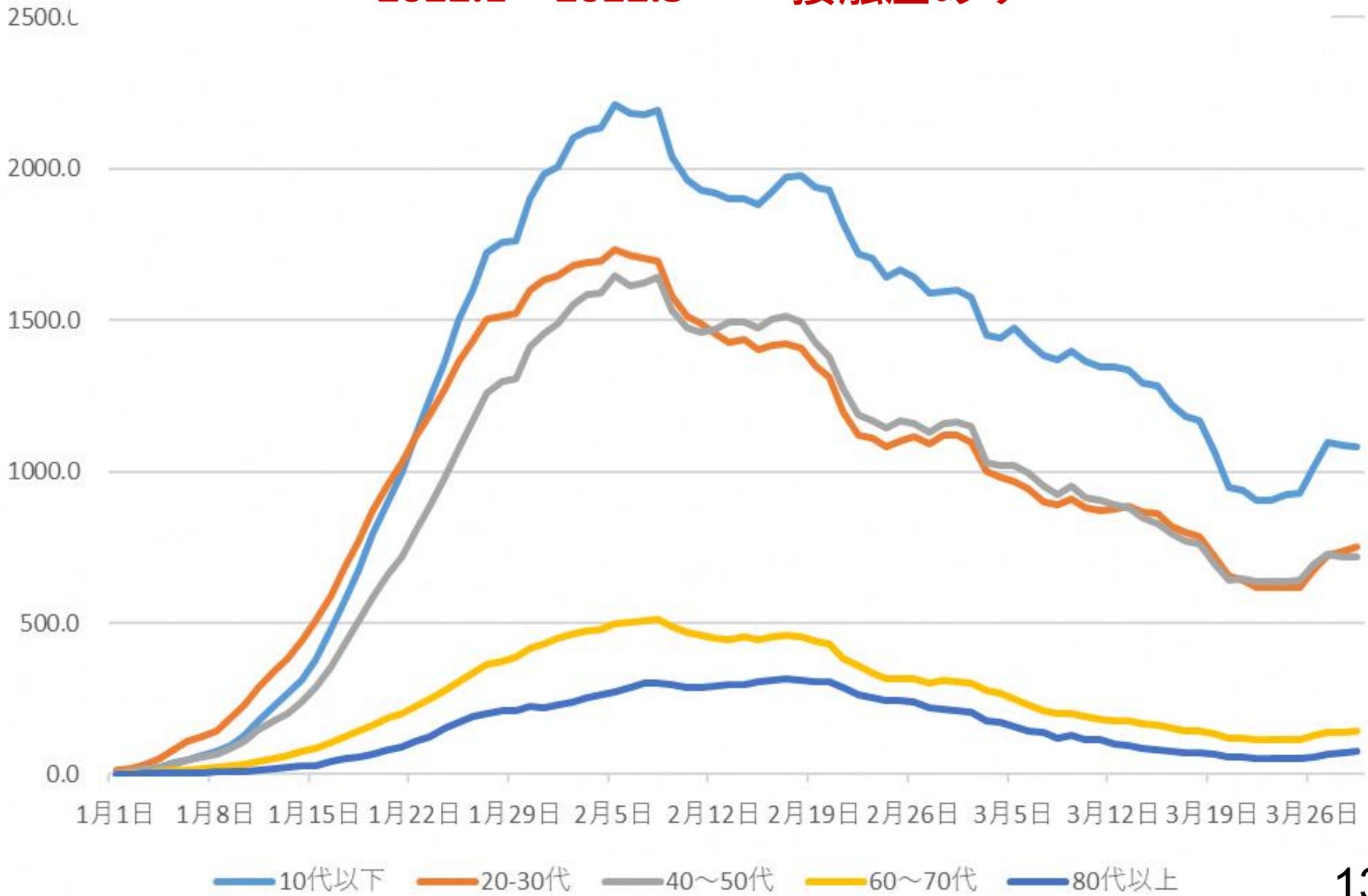
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2021.5 ~ 2022.3 > < 接触歴あり >



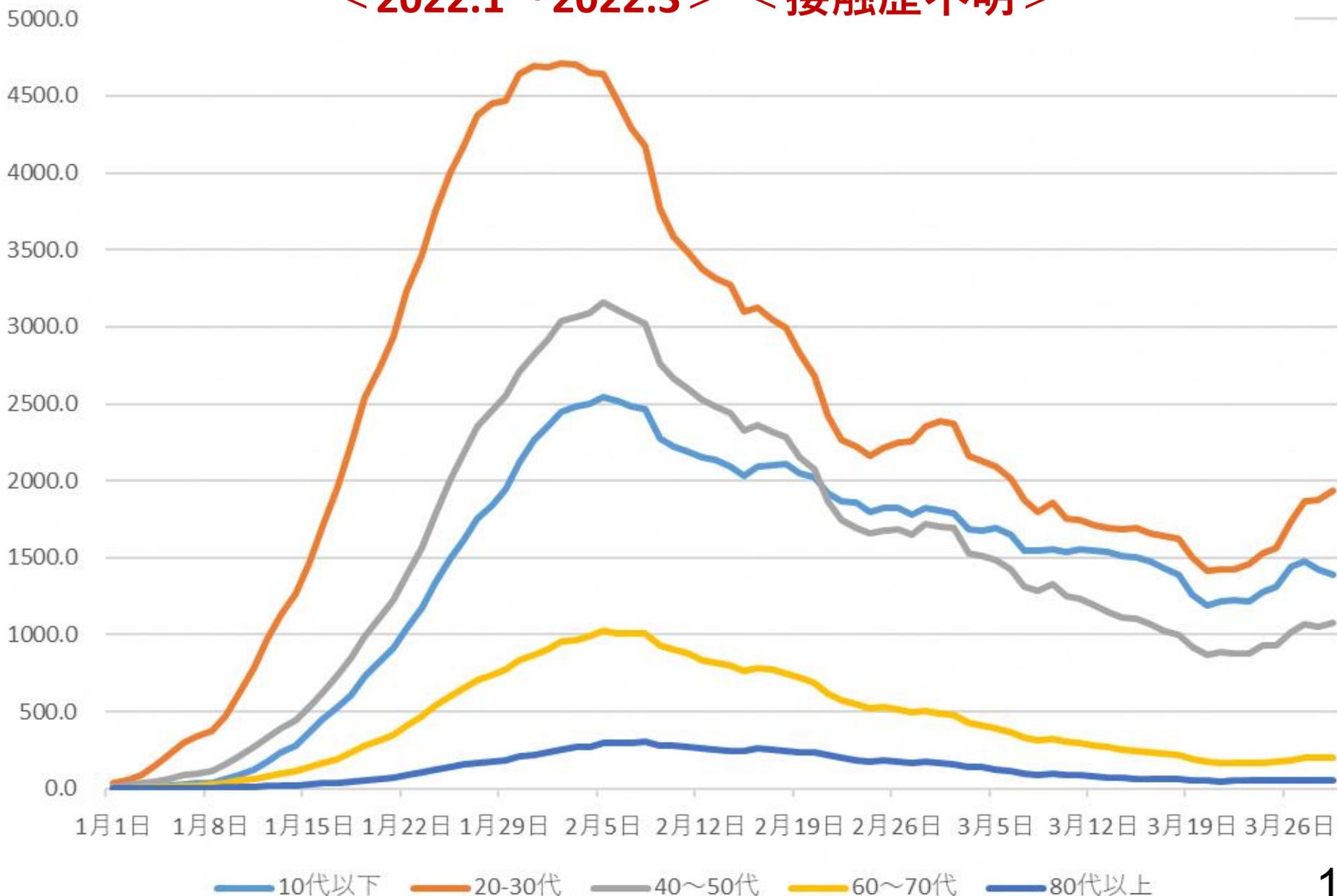
東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2021.7~2022.3 > < 接触歴なし >



東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2022.1～2022.3 > < 接触歴あり >

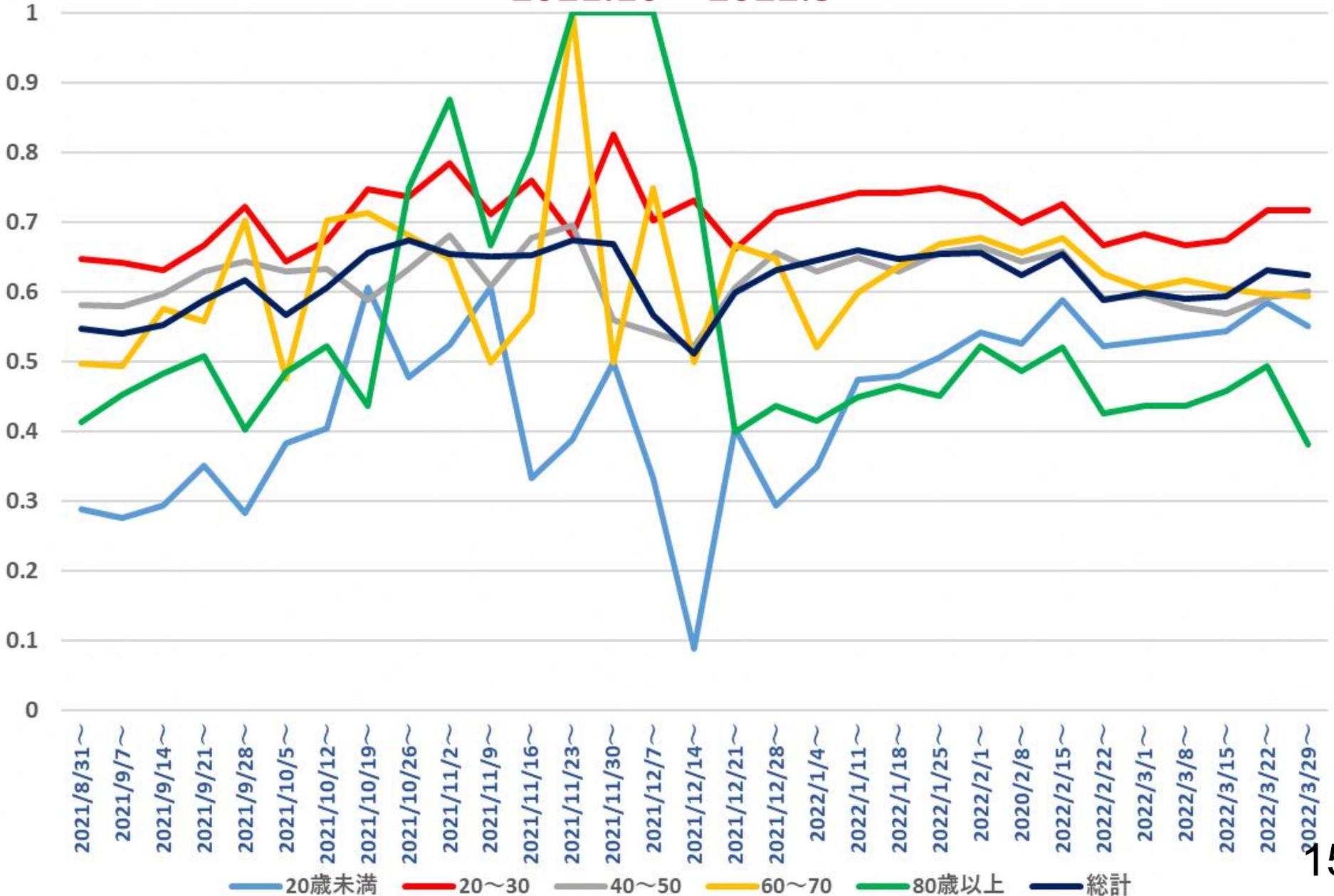


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2022.1～2022.3 > < 接触歴不明 >



東京都年代別週別新規陽性者接触歴不明者割合の推移

< 2021.10 ~ 2022.3 >



東京都特別区新規発生報告状況 2021年2月～2022年4月

※2022年4月は4月3日までの報告情報に基づく

人

人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

2000

1600

1200

800

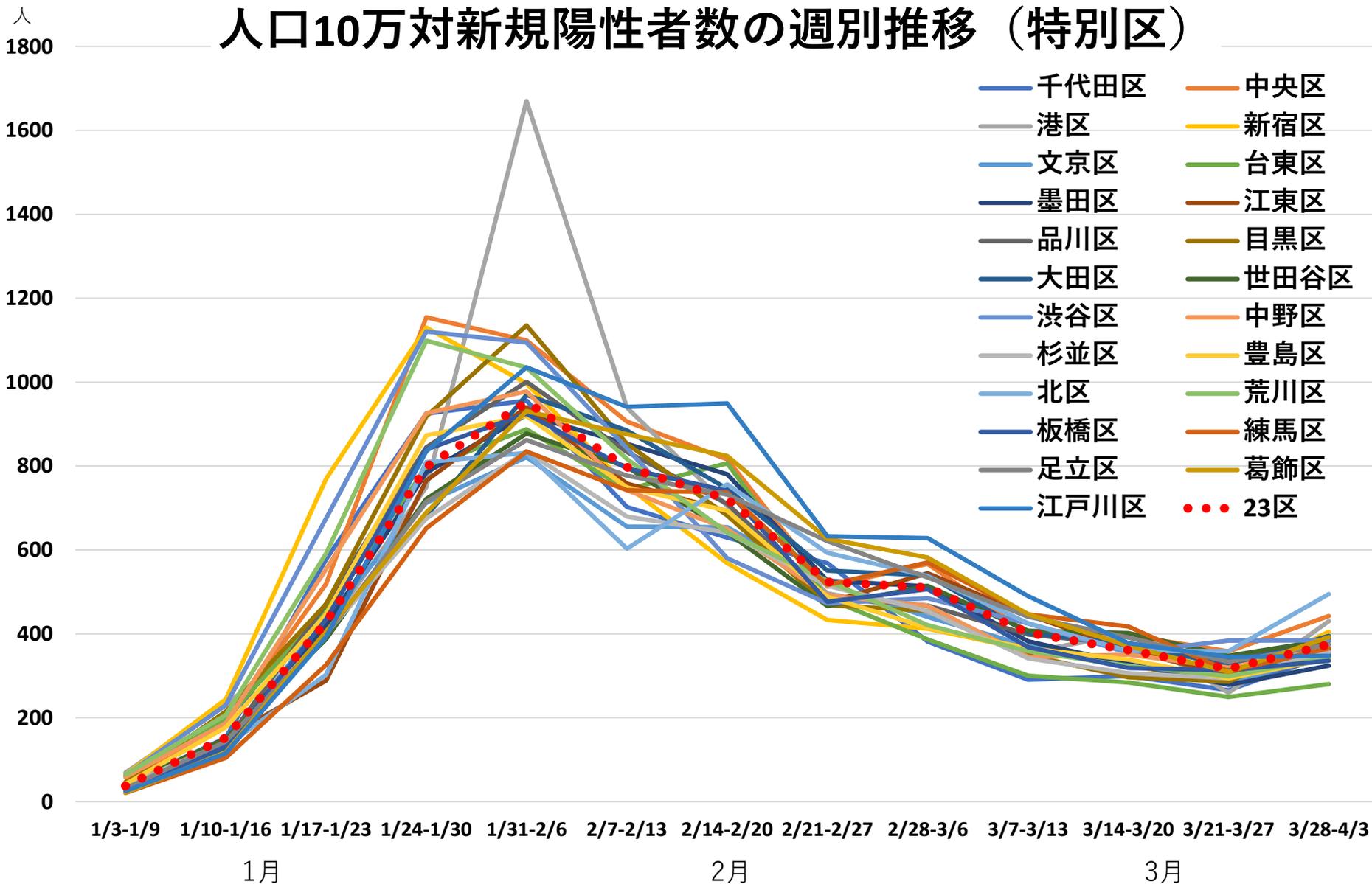
400

0

- 千代田区
- 中央区
- 港区
- 新宿区
- 文京区
- 台東区
- 墨田区
- 江東区
- 品川区
- 目黒区
- 大田区
- 世田谷区
- 渋谷区
- 中野区
- 杉並区
- 豊島区
- 北区
- 荒川区
- 板橋区
- 練馬区
- 足立区
- 葛飾区
- 江戸川区
- 23区

第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 第31週 第32週 第33週 第34週 第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第43週 第44週 第45週 第46週 第47週 第48週 第49週 第50週 第51週 第52週 第53週 第54週 第55週 第56週 第57週 第58週 第59週 第60週 第61週 第62週 第63週 第64週 第65週 第66週 第67週 第68週 第69週 第70週 第71週 第72週 第73週 第74週 第75週 第76週 第77週 第78週 第79週 第80週 第81週 第82週 第83週 第84週 第85週 第86週 第87週 第88週 第89週 第90週 第91週 第92週 第93週 第94週 第95週 第96週 第97週 第98週 第99週 第100週

人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

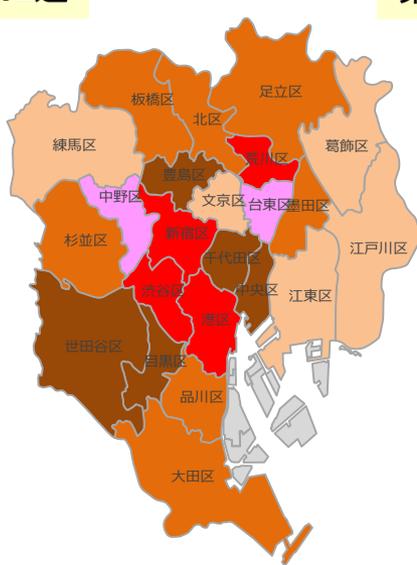


区別人口10万対の新規陽性者数地図 第53～2022/6週(12/27～2/13)

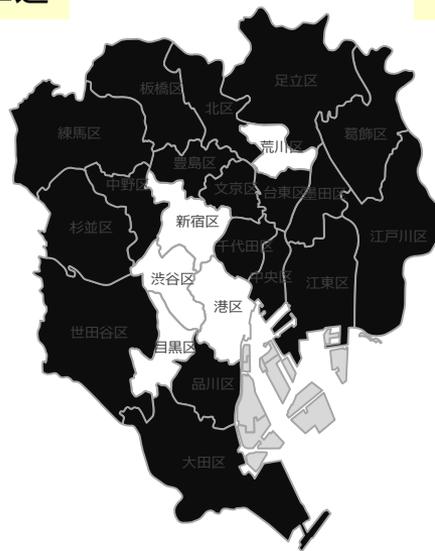
第53週



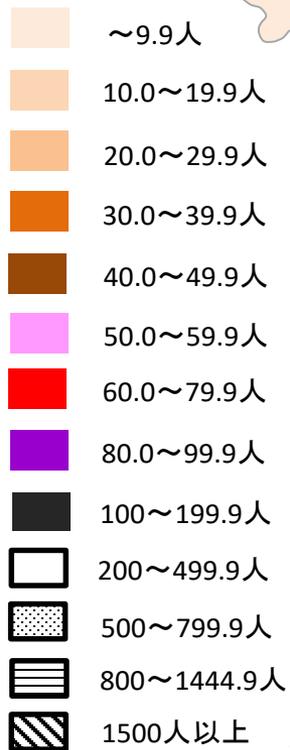
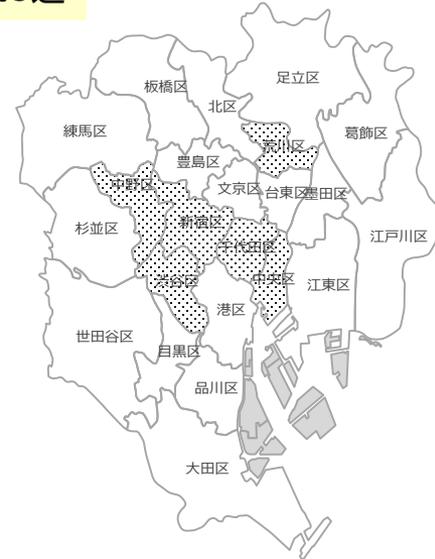
第1週



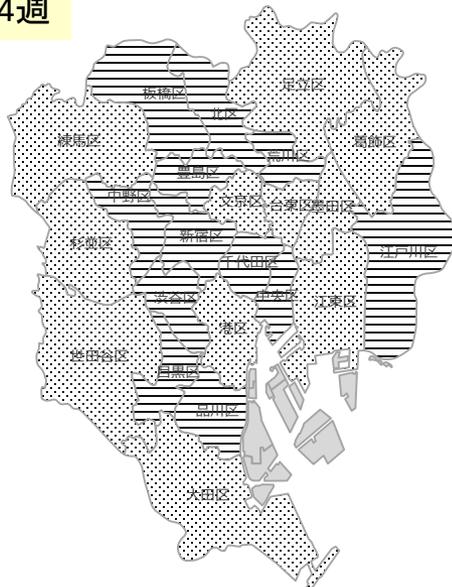
第2週



第3週



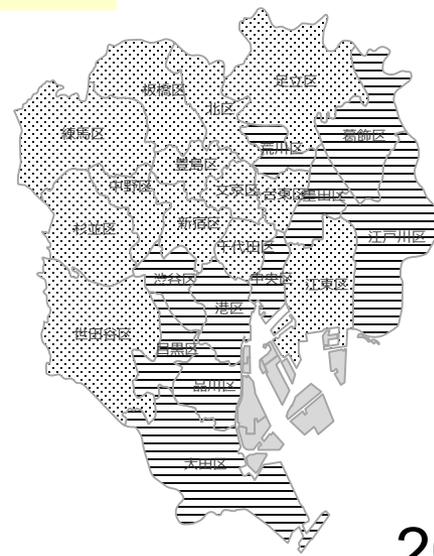
第4週



第5週



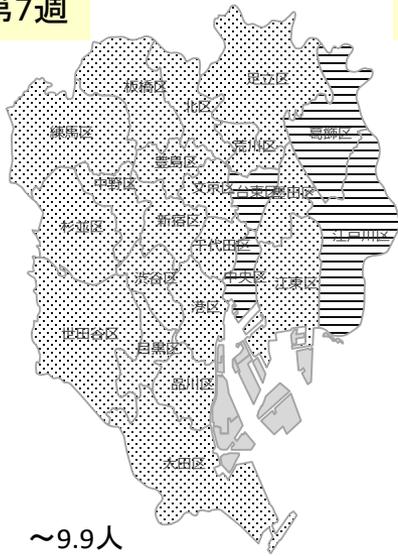
第6週



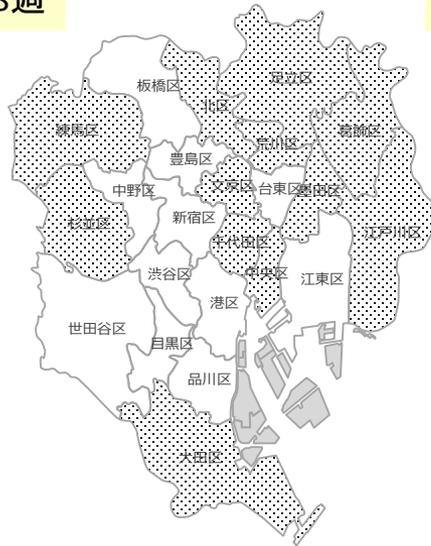
2021年3月の東京都推計人口をもとに算出(東京都総務局統計部)

区別人口10万対の新規陽性者数地図 第7～13週(2/14～4/3)

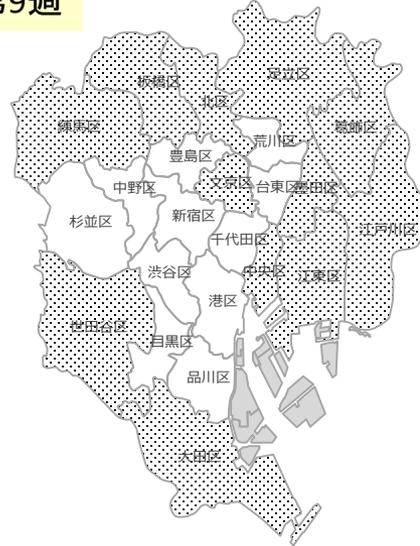
第7週



第8週



第9週



第10週



第11週



第12週



第13週

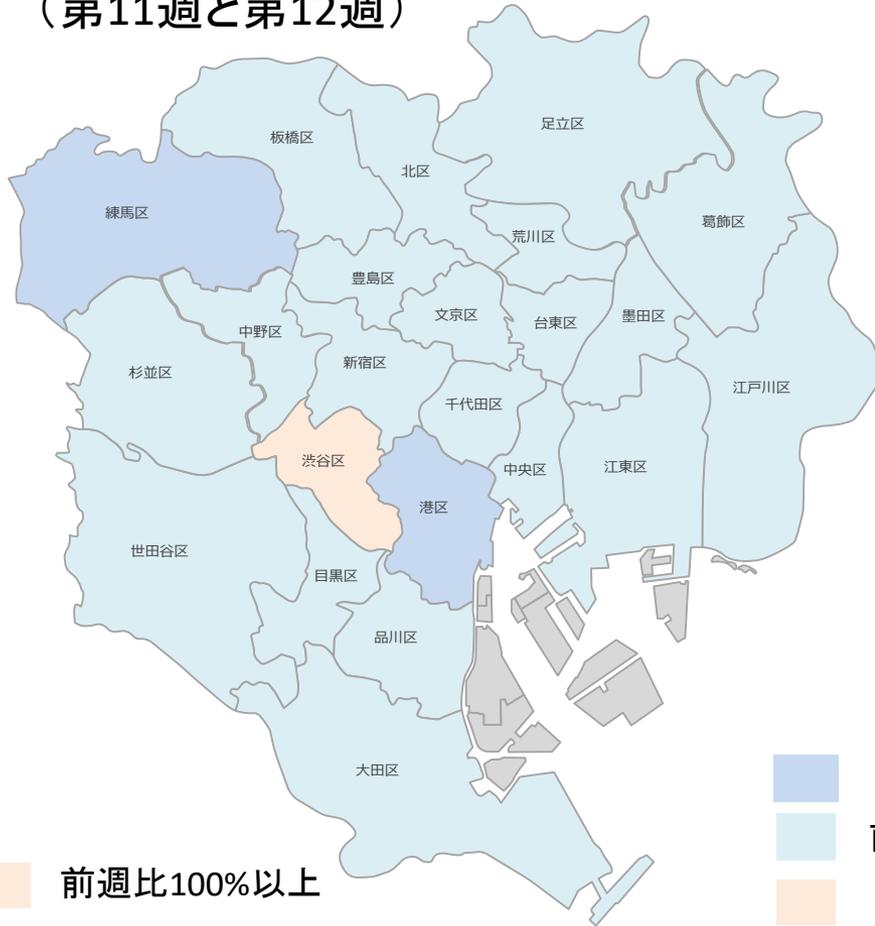


-  ~9.9人
-  10.0~19.9人
-  20.0~29.9人
-  30.0~39.9人
-  40.0~49.9人
-  50.0~59.9人
-  60.0~79.9人
-  80.0~99.9人
-  100~199.9人
-  200~499.9人
-  500~799.9人
-  800~1444.9人
-  1500人以上

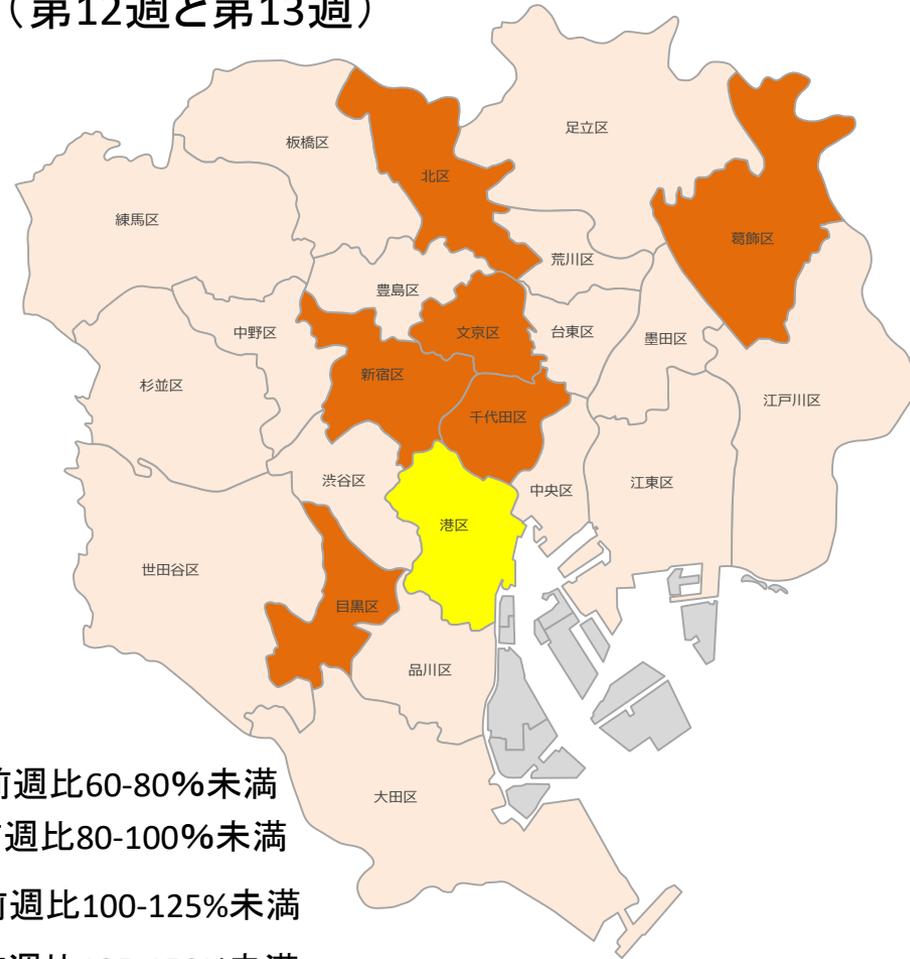
2021年3月の東京都推計人口をもとに算出(東京都総務局統計部)

区別人口10万対の新規陽性者数の前週比

(第11週と第12週)



(第12週と第13週)



- 前週比100%以上
- 前週比80-100%未満
- 前週比60-80%未満
- 前週比60%未満

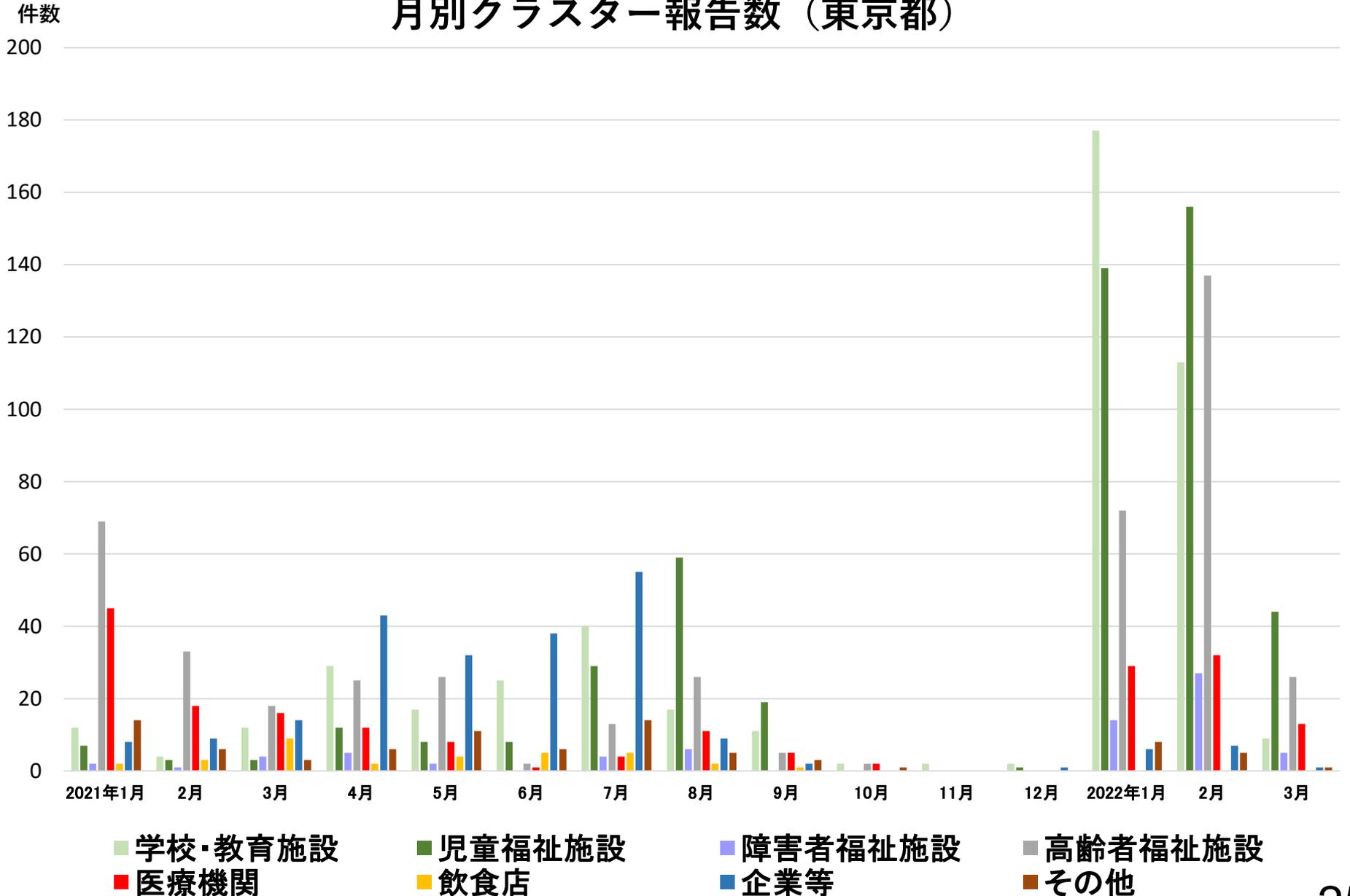
- 前週比100-125%未満
- 前週比125-150%未満
- 前週比150-200%未満
- 前週比200%以上

東京都クラスター発生報告状況 2021年2月～2022年3月26日

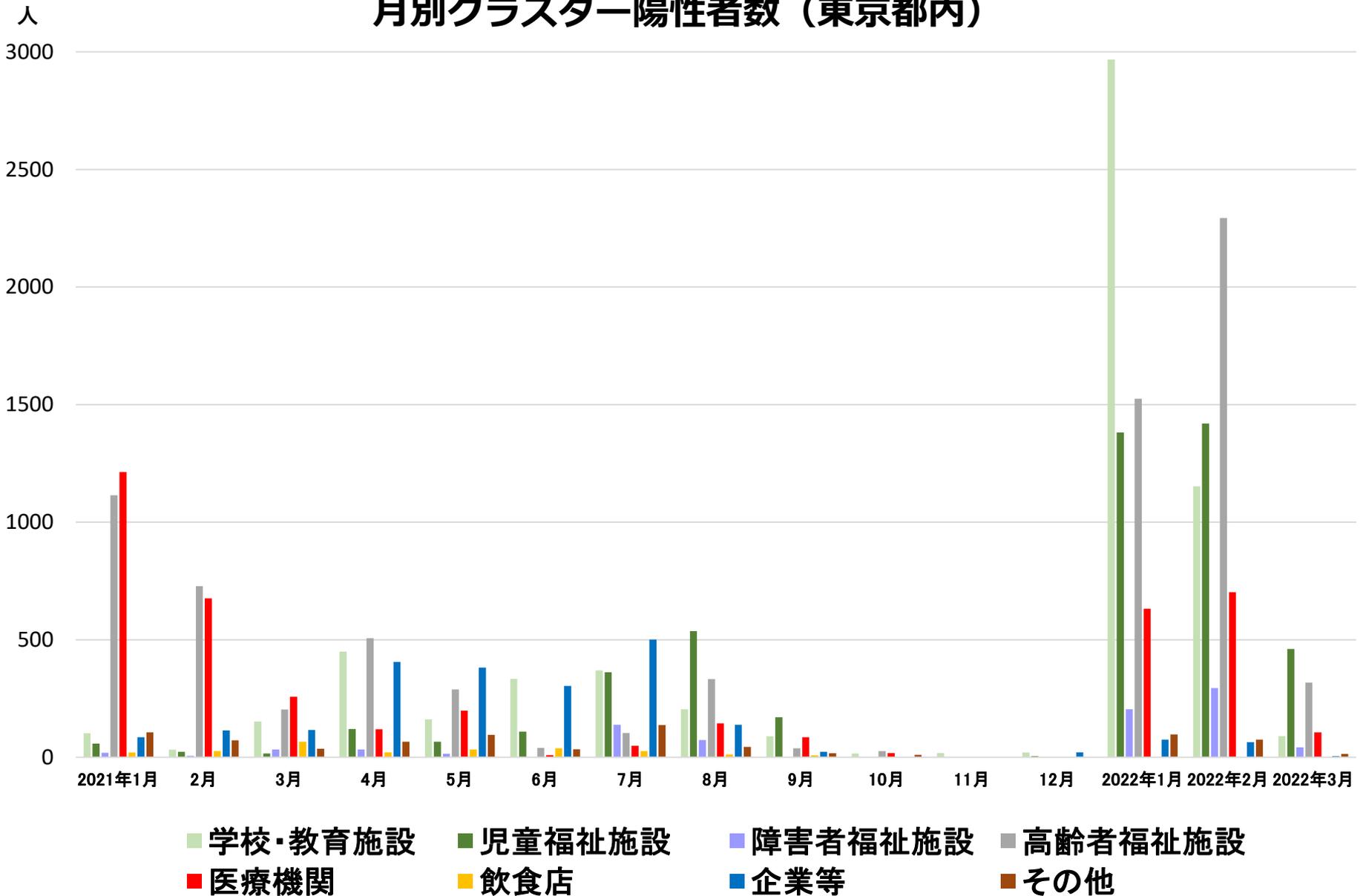
東京都内クラスター報告数 (2021年2月～2022年3月26日) 1862件

施設分類	学校・ 教育施設	児童 福祉施設	障害者 福祉施設	高齢者 福祉施設	医療機関	飲食店	企業等	その他
報告数	460	481	68	385	151	31	217	69
陽性者数	6055	4671	838	6401	2995	230	2148	697
1件あたりの 平均陽性者数	13.2	9.7	12.3	16.6	19.8	7.4	9.9	10.1

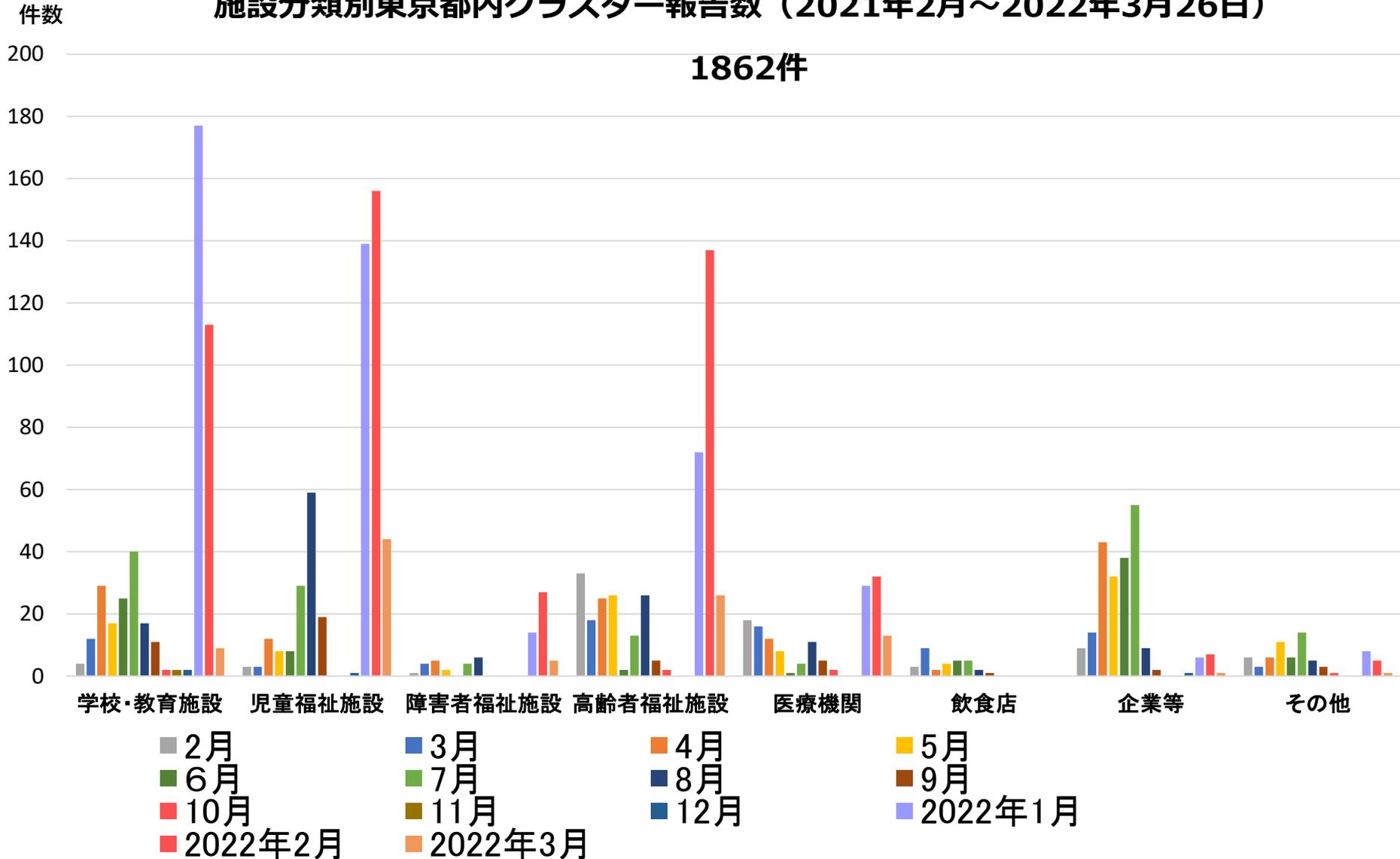
月別クラスター報告数（東京都）



月別クラスター陽性者数（東京都内）

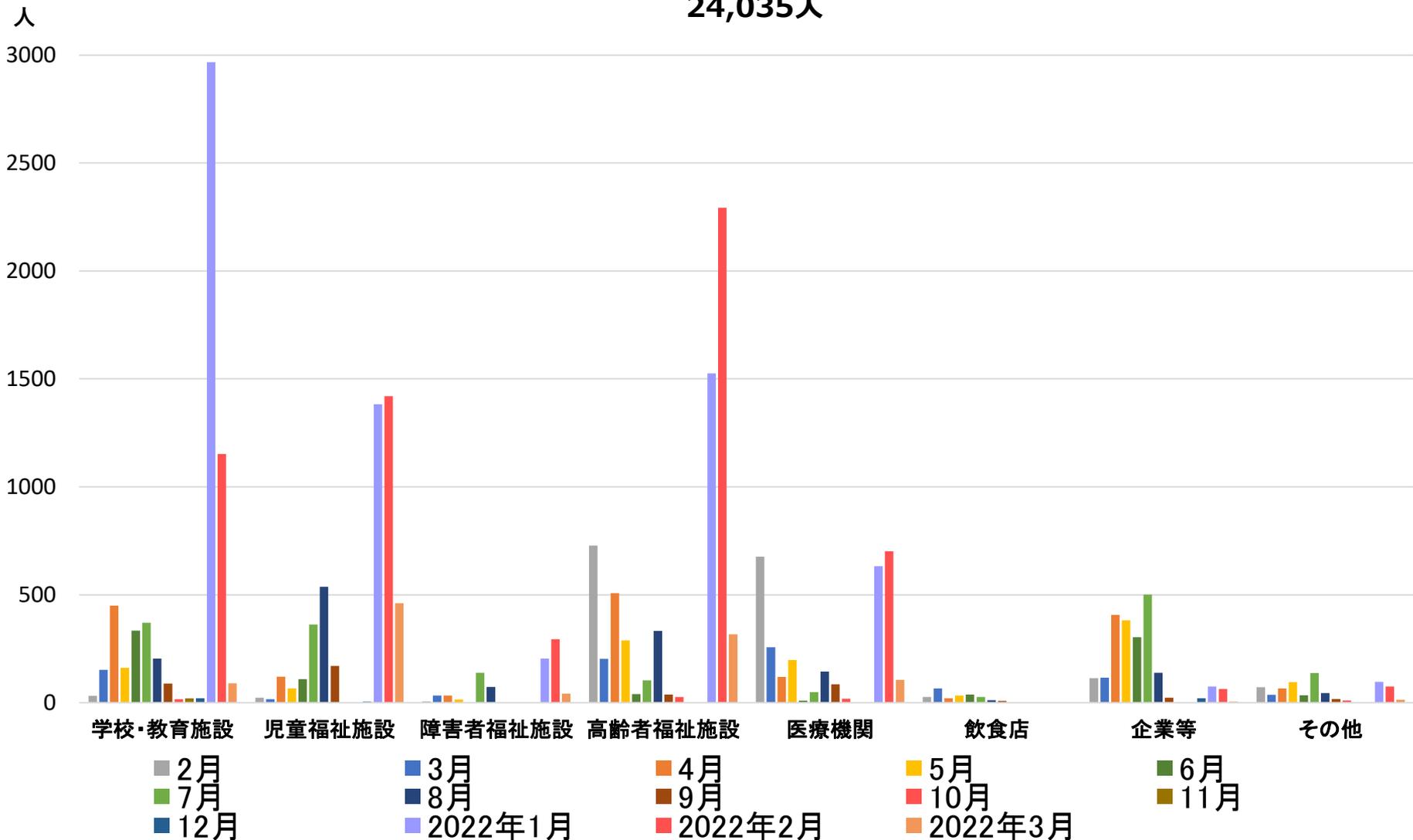


施設分類別東京都内クラスター報告数（2021年2月～2022年3月26日）



施設分類別東京都内クラスター新規陽性者数（2021年2月～2022年3月26日）

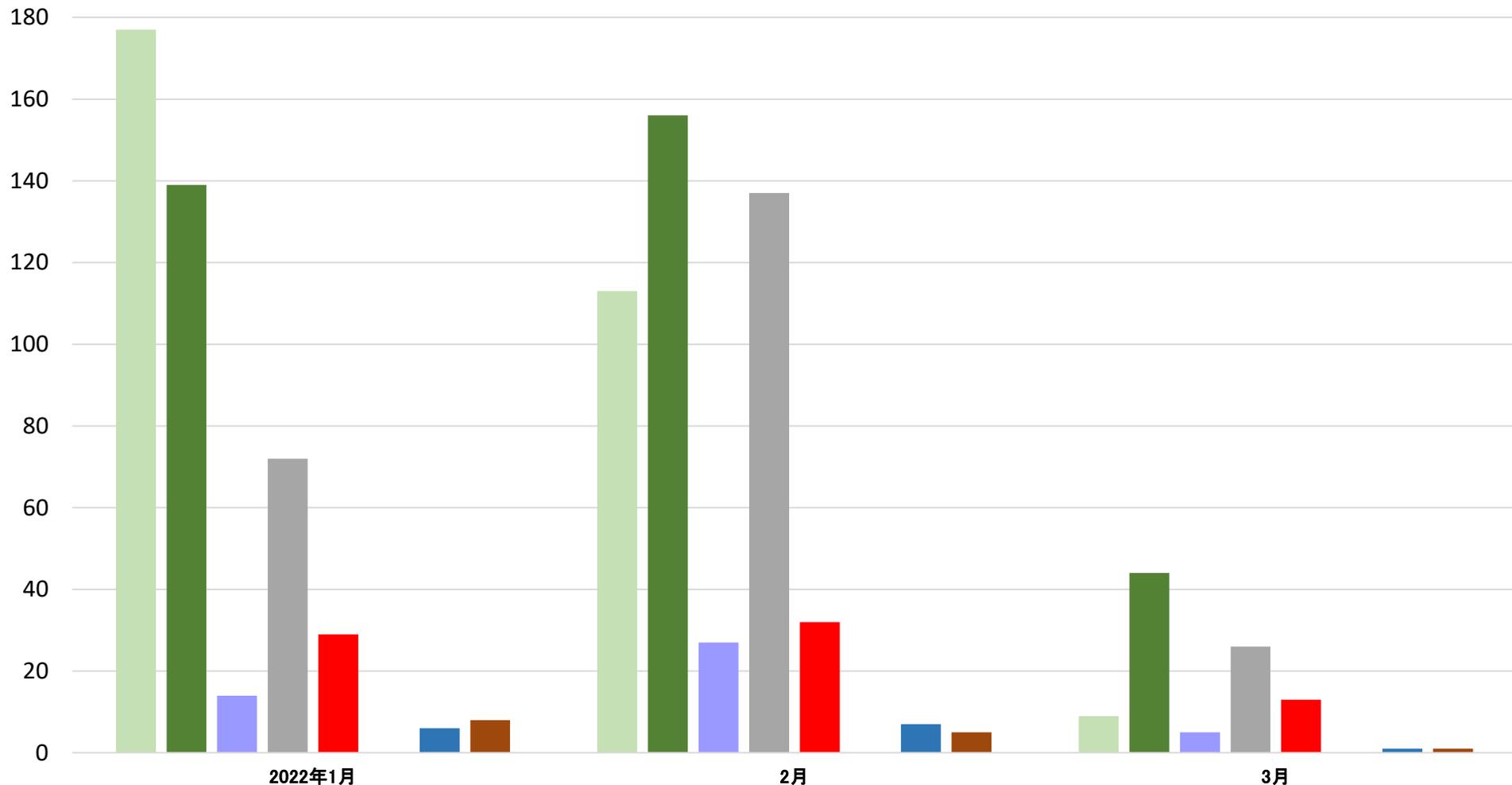
24,035人



月別クラスター報告数（東京都）

（2022年1月～3月26日）

200件数



学校・教育施設
医療機関

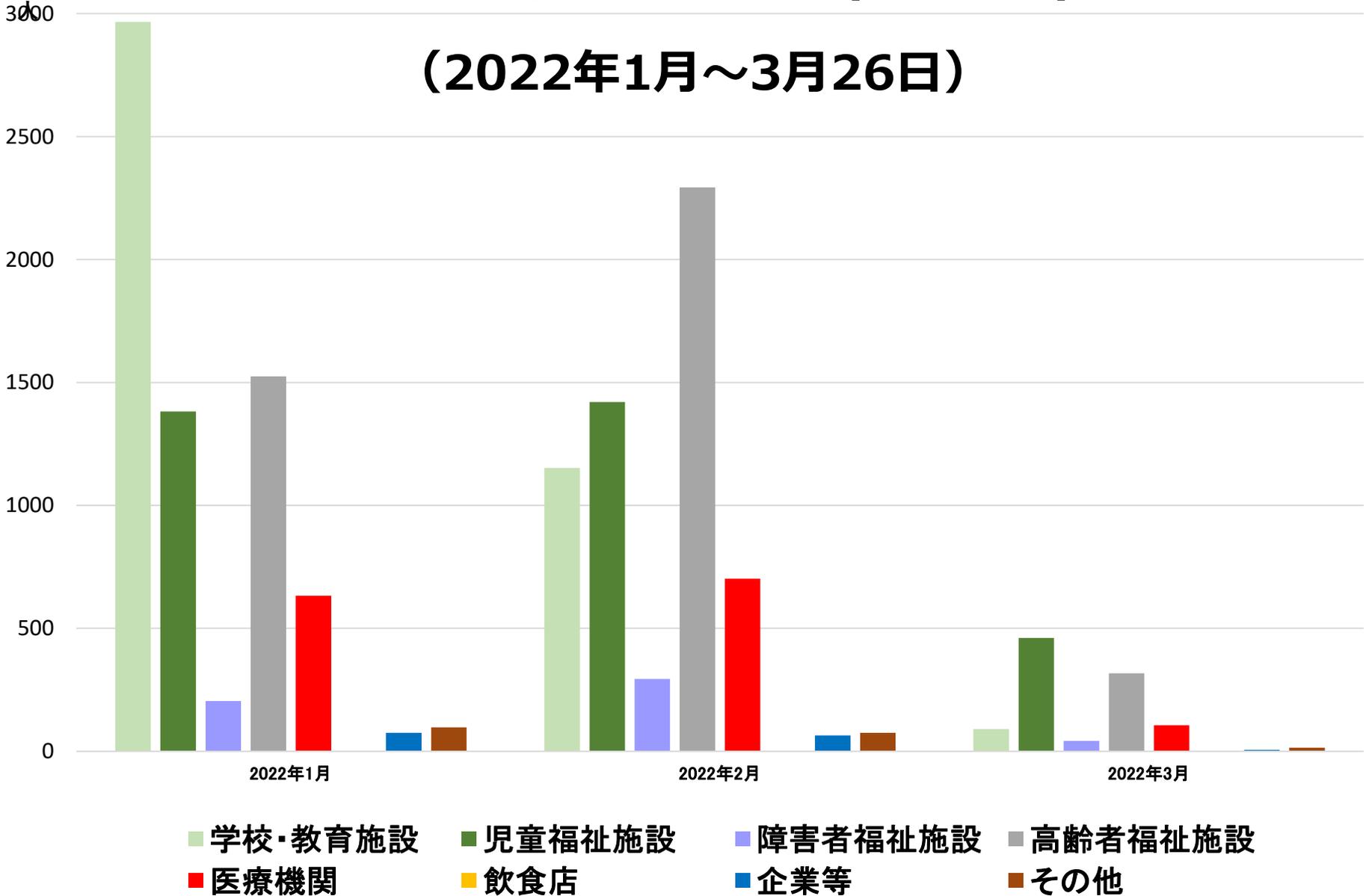
児童福祉施設
飲食店

障害者福祉施設
企業等

高齢者福祉施設
その他

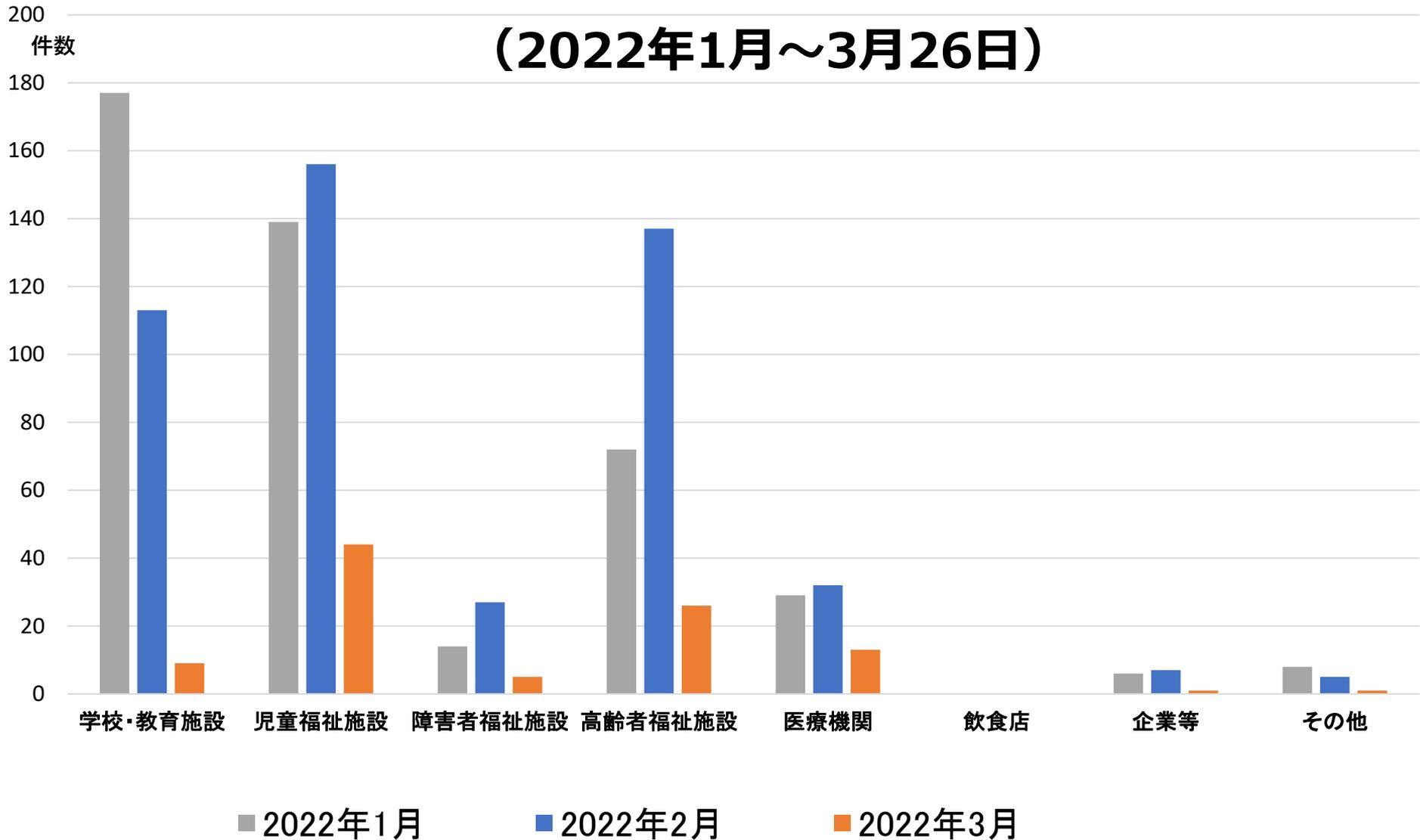
月別クラスター陽性者数（東京都内）

（2022年1月～3月26日）



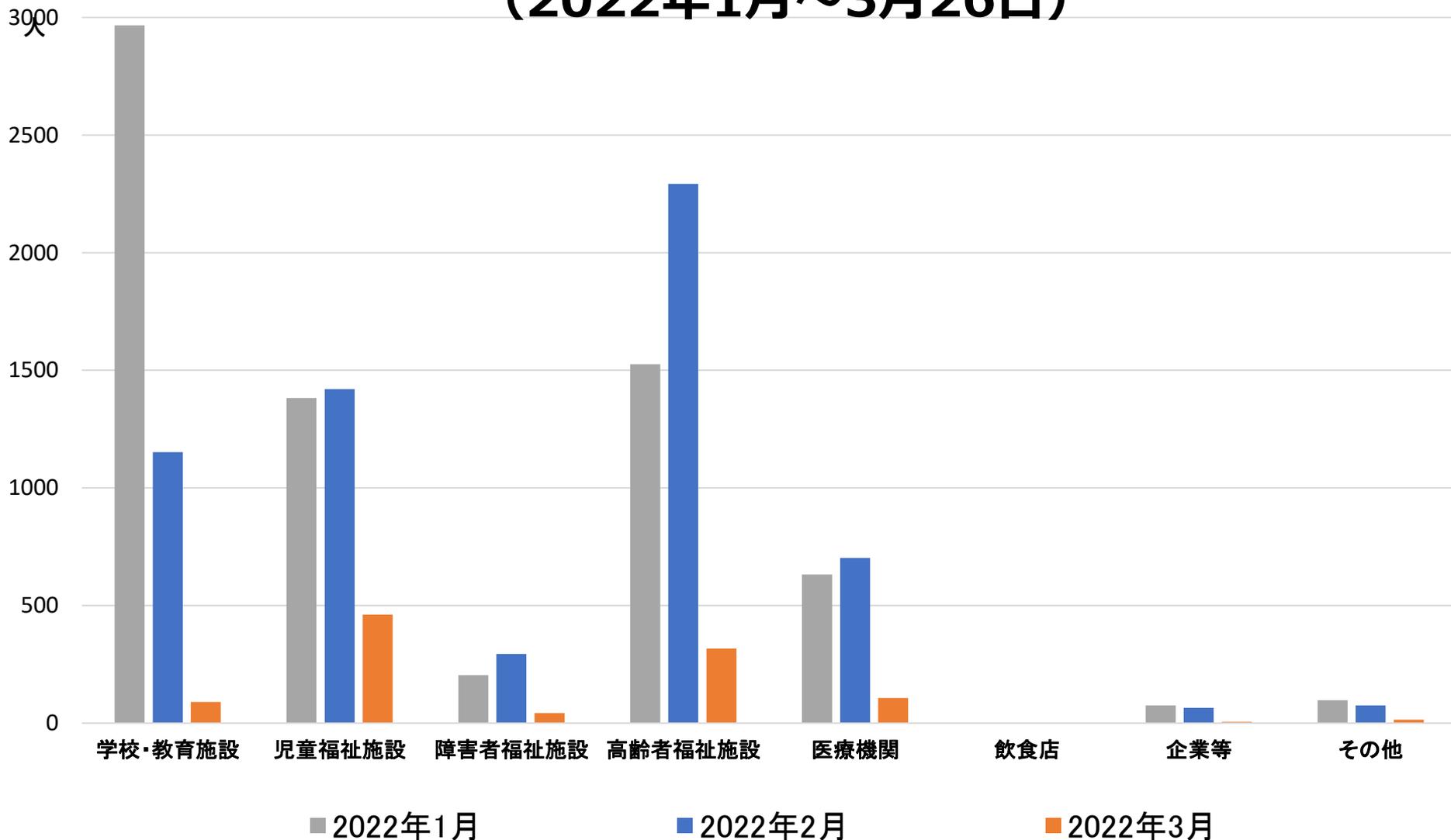
施設分類別東京都内クラスター報告数

(2022年1月～3月26日)

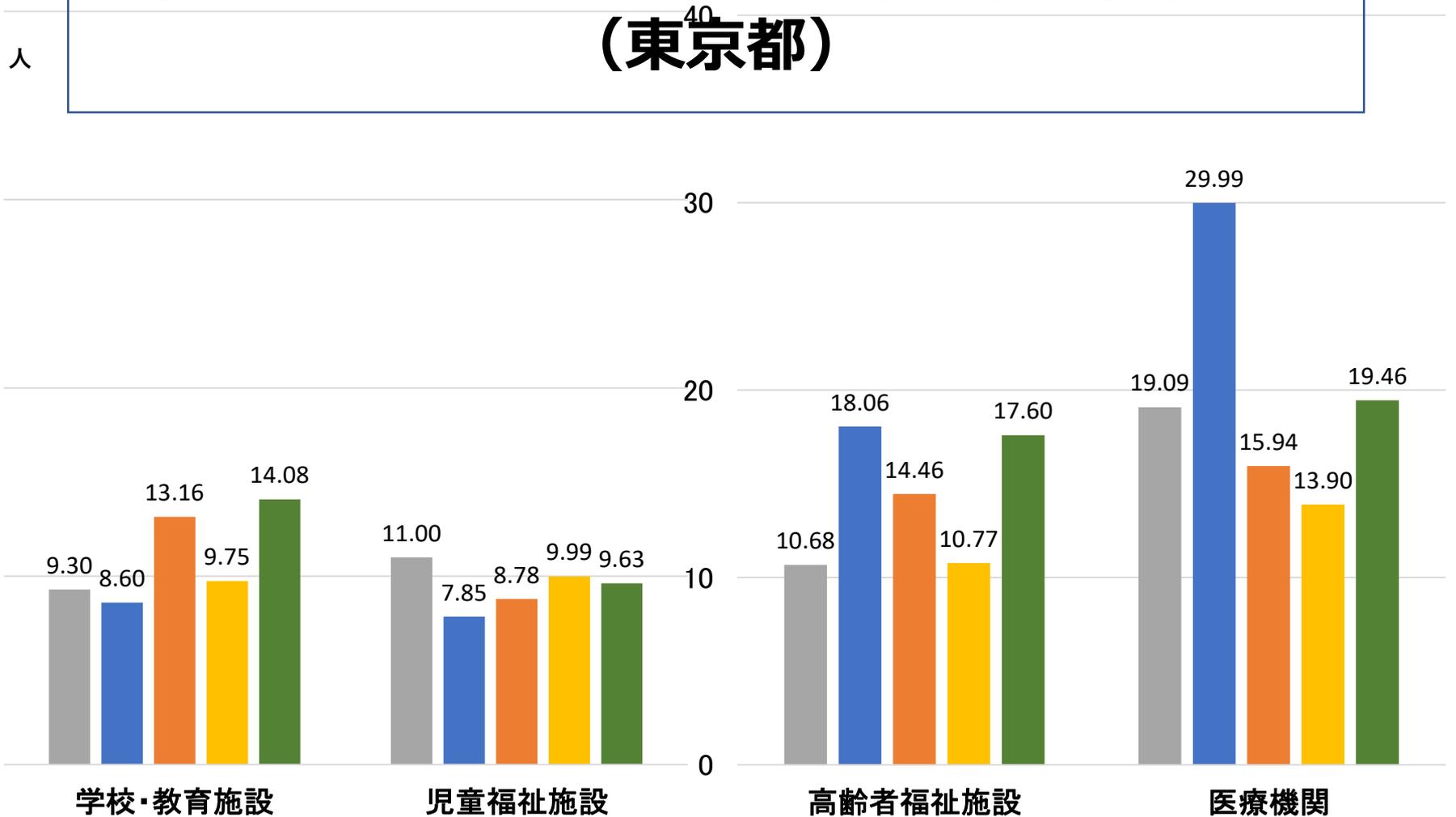


施設分類別東京都内クラスター新規陽性者数

(2022年1月～3月26日)



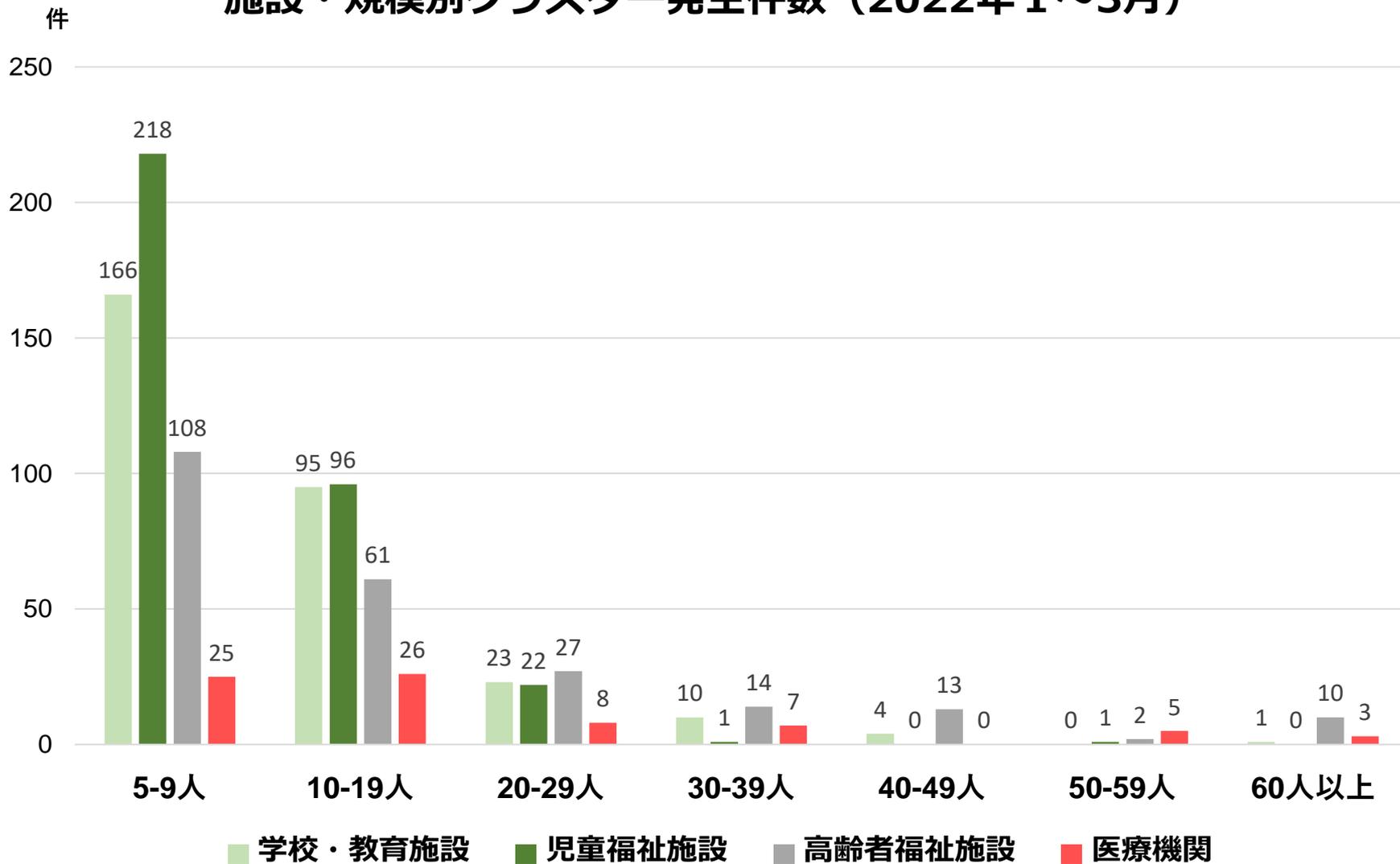
流行期別クラスター1件あたりの新規陽性者数 (東京都)



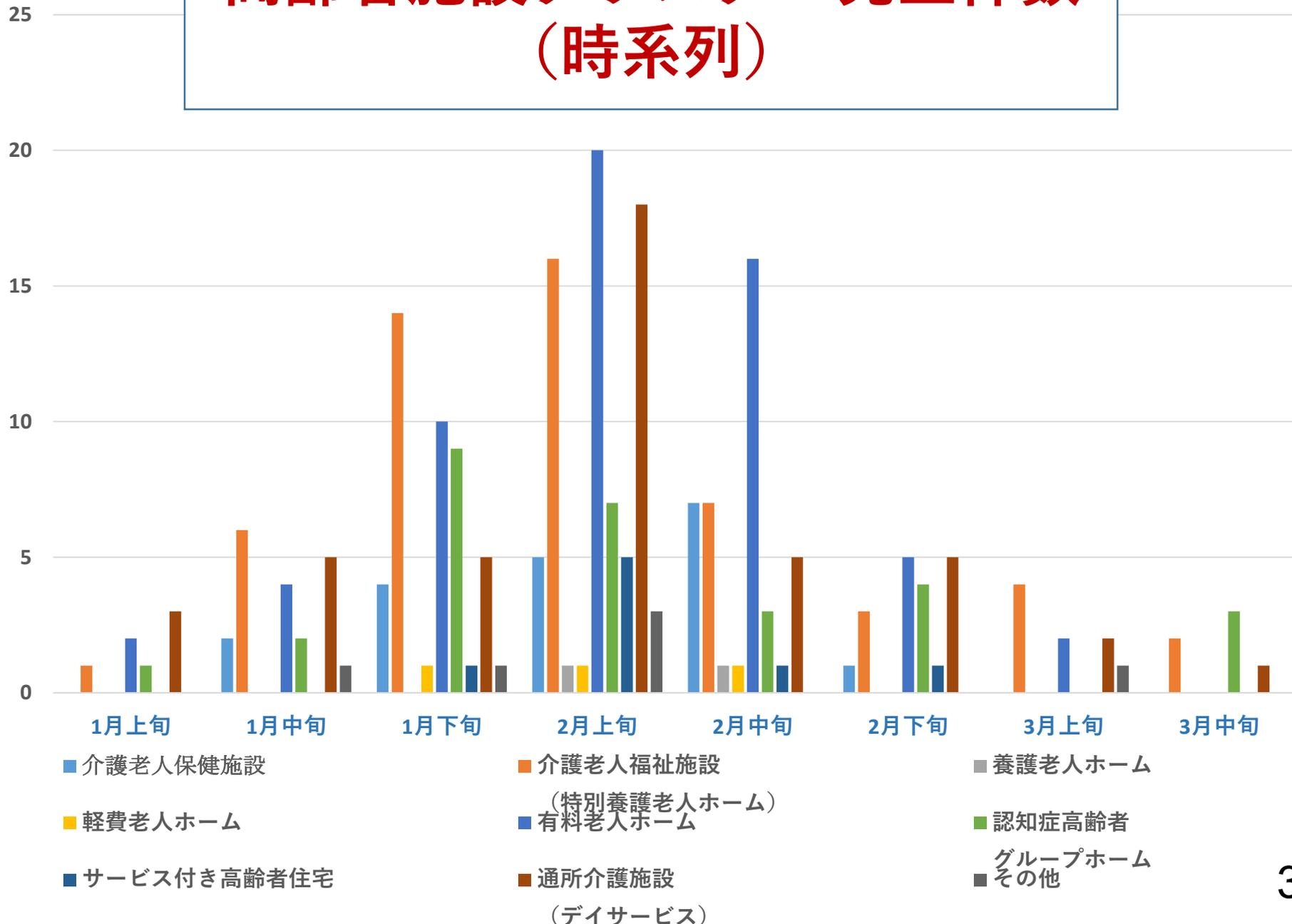
- 第2波：2020年7月～9月
- 第4波：2021年3月～5月
- 第6波：2022年1～3月

- 第3波：2020年12月～2021年2月
- 第5波：2021年7月～9月

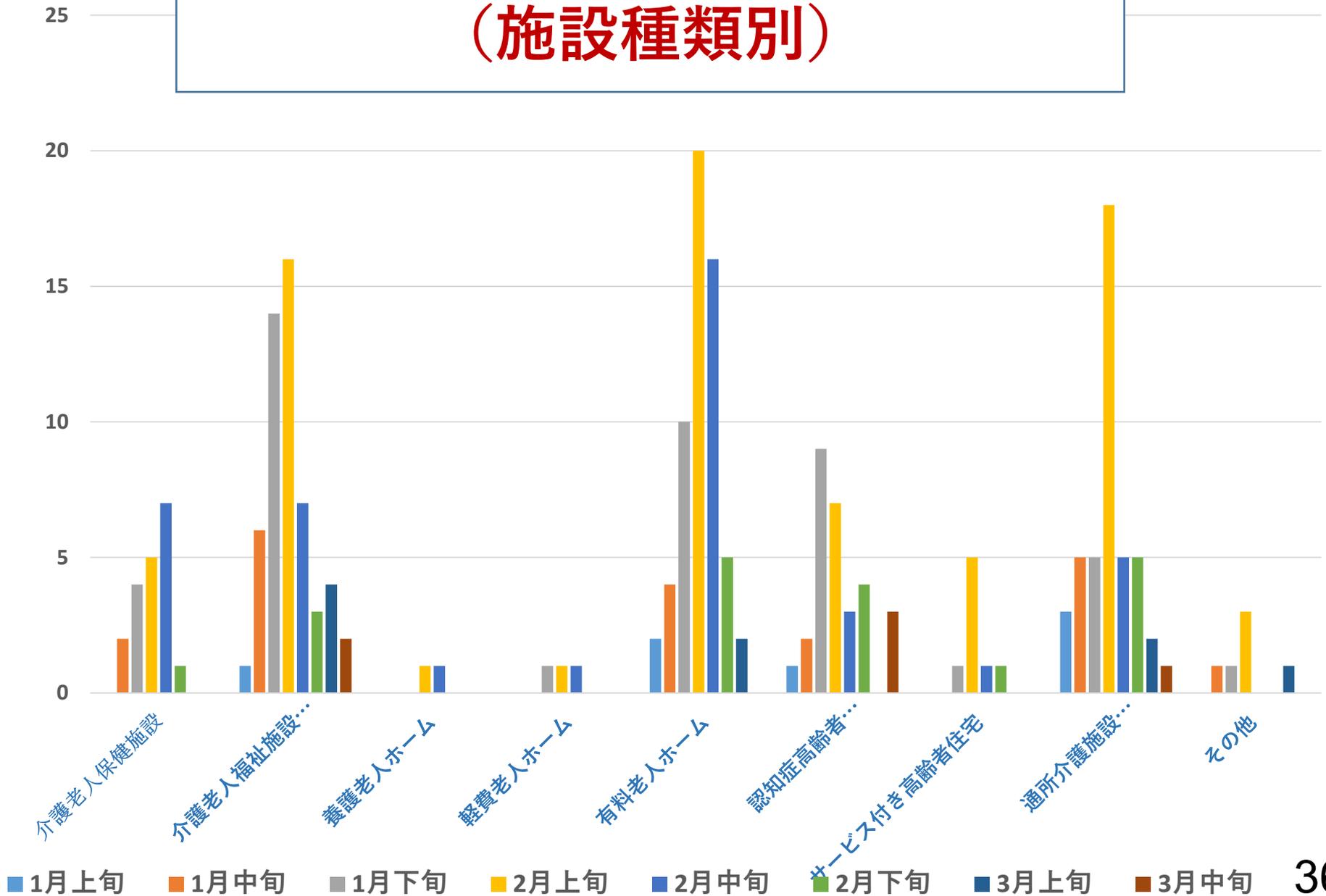
施設・規模別クラスター発生件数（2022年1～3月）



高齢者施設クラスター発生件数 (時系列)



高齢者施設クラスター発生件数 (施設種類別)



大都市における 新型コロナウイルス感染症陽性者の 行動特性に関する調査 (積極的疫学調査深堀)

令和3年度厚生労働科学研究費(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)
新興・再興感染症のリスク評価と危機管理機能の実装のための研究
分担研究報告書を改変抜粋

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 渋谷克彦、井上まり子
東京都医学総合研究所 前田 秀雄

データの基本情報

- 期間：2021年6月1日～7月18日
- 場所：感染拡大が先行した都心2か所の区保健所
- 人数：1,998人：男性 1,166人（58.4%）女性 832人（41.6%）
- 平均年齢 34.9歳 ± 11.1（中央値：32歳）
- 調査項目：性別、年齢、住所（エリア）、国籍、同居者の有無・構成、感染経路、職種、行動歴、マスクの着用有無

1 都3県の緊急事態措置等の状況（2021年4月～9月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉県	4/7~5/25	4/20~4/24	4/25~6/20	6/21~8/1		8/2~9/30
千葉県		4/11~4/24	4/25~6/20	6/21~8/1		8/2~9/30
東京都		4/11~4/24	4/25~6/20	6/21~7/11	7/12~9/30	
神奈川県		4/20~4/24	4/25~6/20	6/21~8/1		8/2~9/30

緊急事態宣言

まん延防止等重点措置

若者のコロナ対策に関する意識調査 (令和3年6月)

内閣官房

調査結果

□ 調査方法: インターネット調査

□ 調査対象: 全国の男女18歳~34歳

□ サンプルング方法およびサンプル数: 3,000サンプル。

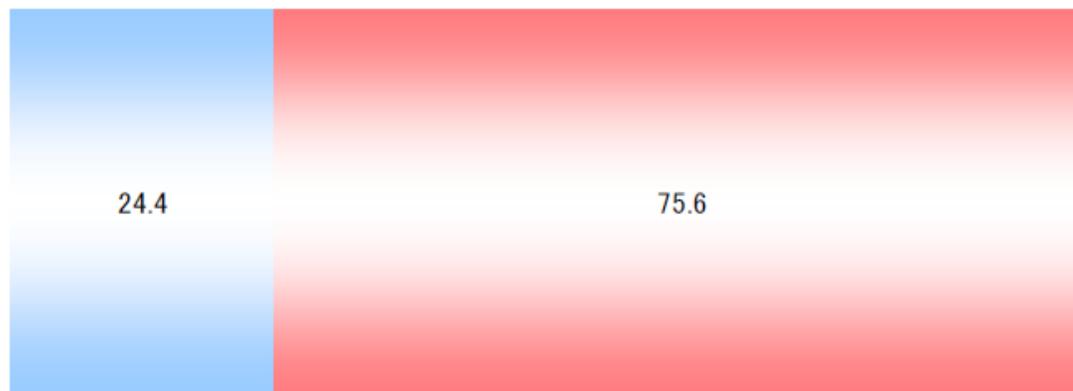
	18-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳
男性	250	417	417	416
女性	250	417	417	416

□ 調査期間: 2021年6月10日(木)~同年6月11日(金)

Q7・Q8

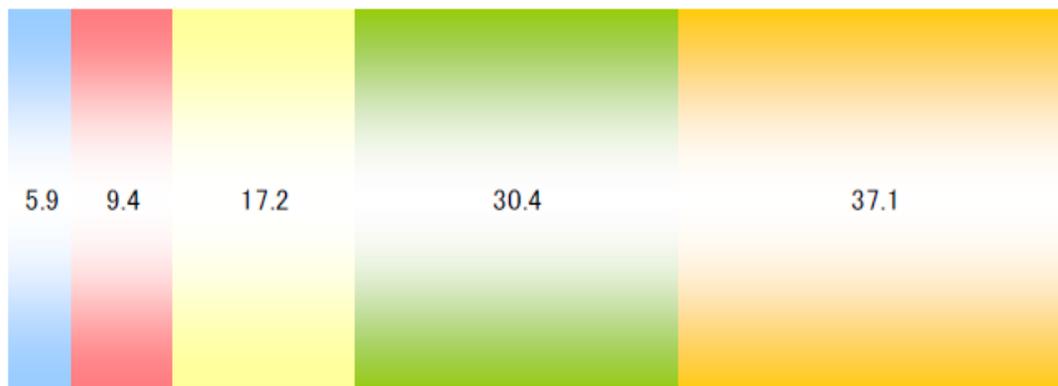
直近1か月以内に会食をしましたか？ここでの会食は「同居する人以外の人との飲食」を指すこととします。(SA)

■ はい ■ いいえ



Q7で「はい」と回答した方に伺います。会食の頻度はどれくらいですか？(SA)

■ ほとんど毎日 ■ 週に2・3回程度 ■ 週に1回程度 ■ 月に2・3回程度 ■ 月に1回以下



まん延防止等重点措置（2021年6月21日～7月11日）

・ イベント関連施設等への要請

- 営業時間短縮を要請
- イベント開催の場合、営業時間短縮（5時～21時）を要請
- イベント開催以外の場合（1,000㎡超の施設）営業時間短縮（5時～20時）を要請・
（1,000㎡以下の施設）営業時間短縮（5時～20時）の協力を依頼
- 映画館（1,000㎡超の施設）営業時間短縮（5時～21時）を要請（1,000㎡以下の施設）営業時間短縮（5時～21時）の協力を依頼
- 施設での飲酒につながる酒類提供の自粛要請

・ 飲食店及び飲食に関連する施設への要請

- 【措置区域】営業時間の短縮（5時～20時）を要請、入場をする者等に対する酒類提供の停止を要請、利用者による施設内への酒類の持込を認めないことを要請、ただし、国の定める「基本4項目」を遵守している店舗について、以下を条件として、酒類提供・持込を可とする ①同一グループの来店：2人以内 ②酒類提供の時間：11時から19時までの間 ③利用者の滞在時間：90分以内
- 【措置区域外】●営業時間の短縮（5時～21時）を要請、ただし、国の定める「基本4項目」を遵守している店舗について、以下を条件として、酒類提供・持込を可とする ①同一グループの来店：2人以内 ②酒類提供の時間：11時から20時までの間 ③利用者の滞在時間：90分以内

緊急事態措置（2021年7月12日～9月30日）

・ イベント等の開催制限

- 人数上限 5,000人 かつ 収容率50%
- 営業時間の短縮を要請、イベント開催時 ～ 21時・イベント開催時以外 ～ 20時
※1,000㎡以下の施設はイベント開催時以外の時短は協力依頼
- 施設での飲酒につながる酒類提供及びカラオケ設備使用の自粛を要請
- 利用者による施設内への酒類の持込を認めないことを要請

・ 施設の使用制限（飲食店等）

- 酒類又はカラオケ設備を提供する施設（利用者に酒類の持込を認めている施設を含む）
➡休業を要請
- 酒類を提供せず、かつカラオケ設備を使用しない施設（利用者に酒類の持込を認めている施設を除く）➡営業時間の短縮（5時～20時）を要請
- 結婚式場➡上記に加え、「1.5時間以内」、「50人又は収容定員の50%のいずれか小さい方」での開催について、協力を依頼

表1-1. 陽性者の特徴

	男性 (n = 1,166)		女性 (n = 832)		合計 (n = 1,998)	
年齢						
20-29歳	433	37.1%	388	46.6%	821	41.1%
30-39歳	329	28.2%	227	27.3%	556	27.8%
40-49歳	241	20.7%	116	13.9%	357	17.9%
50-59歳	127	10.9%	82	9.9%	209	10.5%
60-69歳	36	3.1%	19	2.3%	55	2.8%
国籍						
日本	1038	89.0%	740	88.9%	1778	89.0%
日本以外	126	10.8%	91	10.9%	217	10.9%
記載なし	2	0.2%	1	0.1%	3	0.2%
同居						
あり	598	51.3%	449	54.0%	1047	52.4%
なし	564	48.4%	383	46.0%	947	47.4%
記載なし	4	0.3%	0	0.0%	4	0.2%

表1-2. 陽性者の特徴

	男性 (n = 1,166)		女性 (n = 832)		合計 (n = 1,998)	
感染経路						
あり	318	27.3%	274	32.9%	592	29.6%
不明	848	72.7%	558	67.1%	1406	70.4%
行動歴						
あり	562	48.2%	429	51.6%	991	49.6%
なし	604	51.8%	403	48.4%	1,007	50.4%
発症後行動						
あり	331	28.4%	228	27.4%	559	28.0%
なし	835	71.6%	604	72.6%	1,439	72.0%
マスク着用						
あり	408	35.0%	280	33.7%	688	34.4%
なし	50	4.3%	47	5.6%	97	4.8%
不明・記載なし	708	60.7%	505	60.7%	1,213	60.7%

表1-3. 陽性者の特徴

職種（複数該当あり）	男性 (n = 1,166)		女性 (n = 832)		合計 (n = 1,998)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
会社員	452	38.8%	250	30.0%	702	35.1%
会社経営	90	7.7%	12	1.4%	102	5.1%
営業職	96	8.2%	73	8.8%	169	8.5%
コールセンター	13	1.1%	11	1.3%	24	1.2%
自営業・個人事業主	114	9.8%	35	4.2%	149	7.5%
医療・介護従事者	7	0.6%	29	3.5%	36	1.8%
医療関係者	3	0.3%	8	1.0%	11	0.6%
飲食業	133	11.4%	72	8.7%	205	10.3%
接客業	32	2.7%	39	4.7%	71	3.6%
美容系接客業	21	1.8%	49	5.9%	70	3.5%
教育・保育・講師	21	1.8%	32	3.8%	53	2.7%
物流・運輸	14	1.2%	5	0.6%	19	1.0%
芸能関係	31	2.7%	30	3.6%	61	3.1%
学生	61	5.2%	44	5.3%	105	5.3%
その他	8	0.7%	8	1.0%	16	0.8%
無職・休職中	98	8.4%	168	20.2%	266	13.3%
不明	12	1.0%	5	0.6%	17	0.9%

感染経路

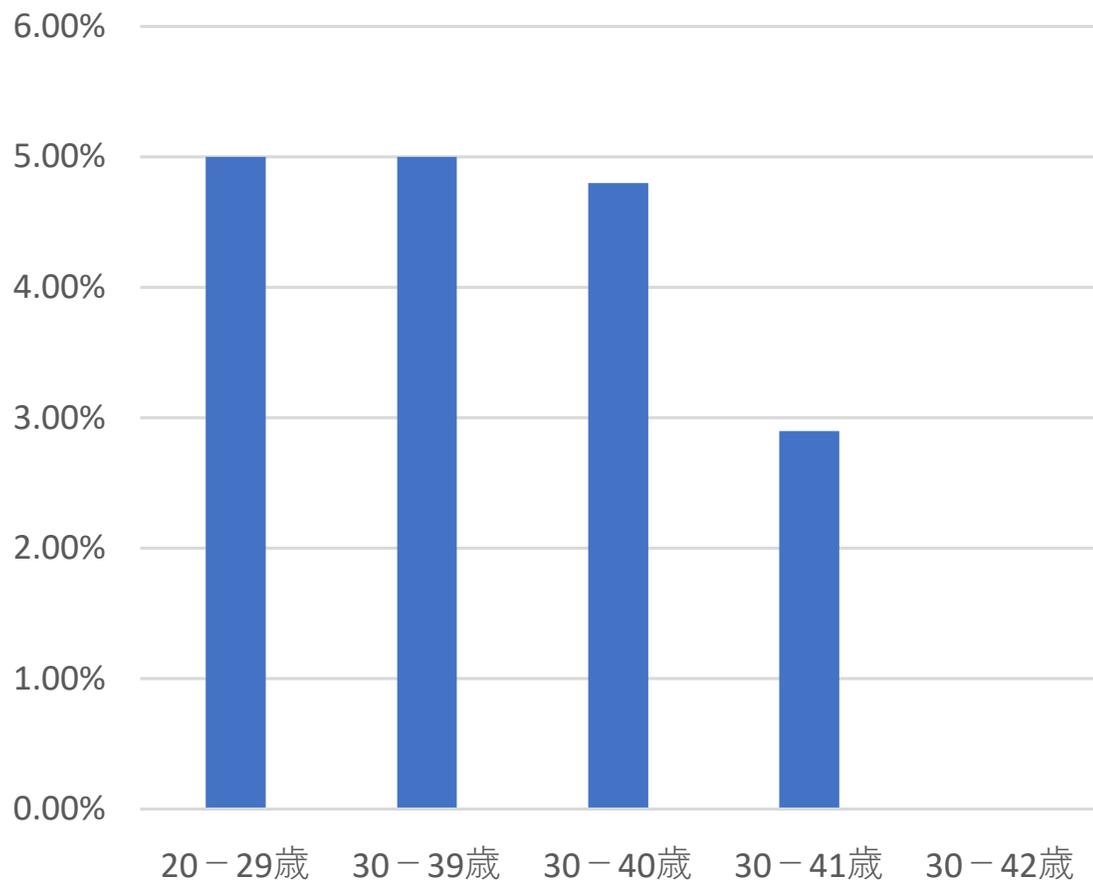
- 約 7 割は感染経路不明であった。
- 20～40歳代では感染経路として「職場」や「会食」が多いが、年齢階級が高まるごとに「家族内・同居人」の割合が多くなっていった。
- また、同居がない人は、ある人比べて感染経路として「会食」、「職場」、「知人・友人等」の割合が高かった。

表2. 年齢階級別感染経路

感染経路（複数該当あり）

年齢	不明	施設・院内	職場	家族内・同居人	会食	学校	寮・下宿等	友人・知人等	イベント・スポーツ活動等	その他
20-29歳	575 (70.0%)	1 (0.1%)	62 (7.6%)	88 (10.7%)	41 (5.0%)	3 (0.4%)	6 (0.7%)	36 (4.4%)	8 (1.0%)	2 (0.2%)
30-39歳	407 (73.2%)	0 (0%)	48 (8.6%)	56 (10.1%)	28 (5.0%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)	12 (2.2%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)
40-49歳	238 (66.7%)	0 (0%)	36 (10.1%)	49 (13.7%)	17 (4.8%)	1 (0.3%)	0 (0%)	11 (3.1%)	3 (0.8%)	2 (0.6%)
50-59歳	146 (69.9%)	0 (0%)	17 (8.1%)	35 (16.7%)	6 (2.9%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (2.4%)	0 (0%)	0 (0%)
60-69歳	40 (72.7%)	0 (0%)	3 (5.5%)	9 (16.4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3.6%)	0 (0%)	1 (1.8%)
合計	1406 (70.4%)	1 (0.1%)	166 (8.3%)	237 (11.9%)	92 (4.6%)	5 (0.3%)	7 (0.4%)	66 (3.3%)	14 (0.7%)	6 (0.3%)

感染経路 = 会食



感染経路 = 家族内・同居人

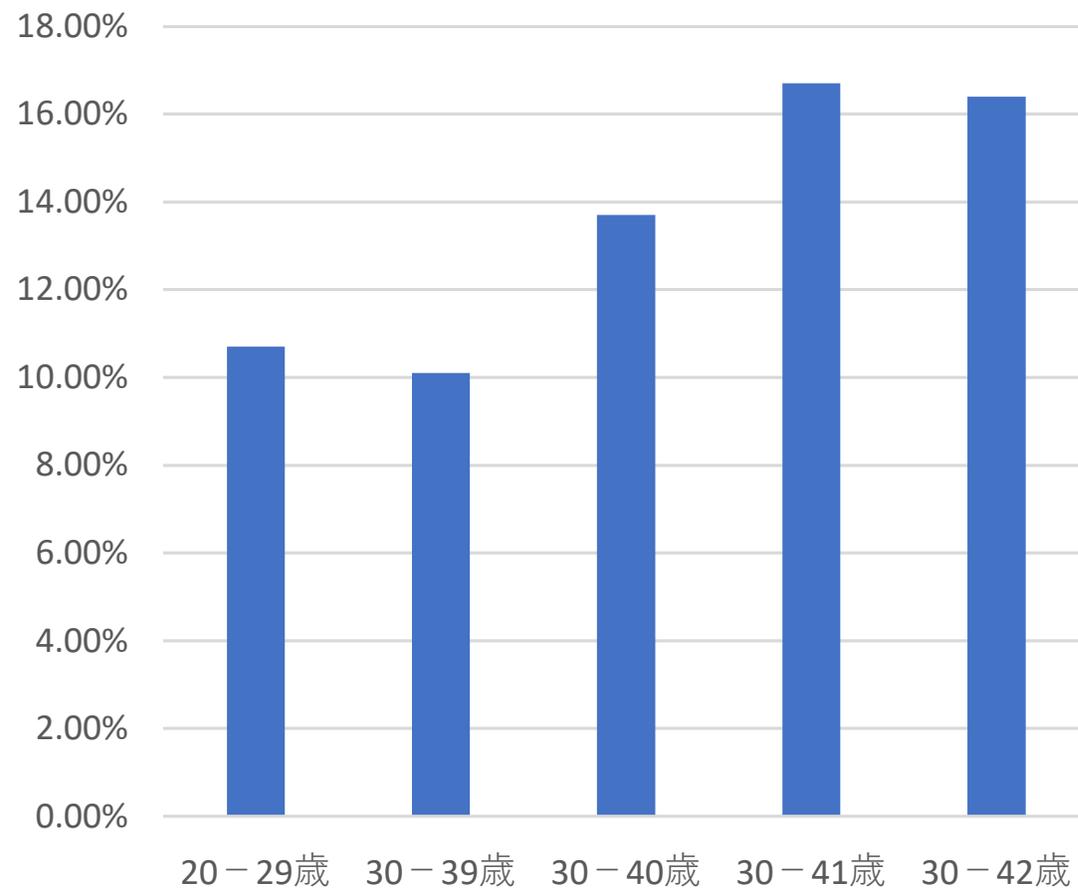


表4. 性・年齢階級別の行動歴の有無

年齢	男性 (n=1,166)		女性 (n=832)	
	行動歴あり	行動歴なし	行動歴あり	行動歴なし
20-29歳	221 (51.0%)	212 (49.0%)	204 (52.6%)	184 (47.4%)
30-39歳	165 (50.2%)	164 (49.8%)	123 (54.2%)	104 (45.8%)
40-49	104 (43.2%)	137 (56.8%)	59 (50.9%)	57 (49.1%)
50-59	53 (41.7%)	74 (58.3%)	37 (45.1%)	45 (54.9%)
60-69	19 (52.8%)	17 (47.2%)	6 (31.6%)	13 (68.4%)
全体	562 (48.2%)	604 (51.8%)	429 (51.6%)	403 (48.4%)

表5. 行動歴詳細

行動歴 (複数回答)	男性 (n=1,166)	女性 (n=832)	合計 (n=1,998)
会食・飲み会	309 (26.5%)	231 (27.7%)	540 (27.0%)
食事	42 (3.6%)	47 (5.6%)	89 (4.5%)
会議・打合せ等	67 (5.7%)	25 (3.0%)	92 (4.6%)
移動	80 (6.9%)	58 (7.0%)	138 (6.9%)
宿泊	63 (5.4%)	48 (5.8%)	111 (5.6%)
イベント参加	41 (3.5%)	27 (3.2%)	68 (3.4%)
イベント関連活動	27 (2.3%)	26 (3.1%)	53 (2.7%)
文科系活動	14 (1.2%)	15 (1.8%)	29 (1.5%)
スポーツ活動	82 (7.0%)	34 (4.1%)	116 (5.8%)
娯楽施設利用	12 (1.0%)	17 (2.0%)	29 (1.5%)
美容関連	19 (1.6%)	45 (5.4%)	64 (3.2%)
医療	32 (2.7%)	30 (3.6%)	62 (3.1%)
外出	51 (4.4%)	45 (5.4%)	96 (4.8%)
その他	50 (4.3%)	33 (4.0%)	83 (4.2%)
行動歴なし	604 (51.8%)	403 (48.4%)	1,007 (50.4%)

表6. 年齢階級別行動歴（行動複数該当あり）

(n = 1,998)

年齢	会食・飲み会	食事	会議・打合せ等	移動	宿泊	イベント参加	イベント関連活動	文科系活動	スポーツ活動	娯楽施設利用	美容関連	医療	外出	その他	行動歴なし (出勤・登校は含む)
20-29歳	251 (46.4%)	29 (32.5%)	25 (27.1%)	59 (42.7%)	60 (54.0%)	25 (36.7%)	26 (49.0%)	13 (44.8%)	41 (35.3%)	16 (55.1%)	32 (50.0%)	15 (24.1%)	40 (41.6%)	42 (50.6%)	396 (39.3%)
30-39歳	168 (31.1%)	31 (34.8%)	34 (36.9%)	40 (28.9%)	26 (23.4%)	28 (41.1%)	19 (35.8%)	8 (27.5%)	36 (31.0%)	7 (24.1%)	18 (28.1%)	12 (19.3%)	32 (33.3%)	16 (19.2%)	268 (26.6%)
40-49歳	73 (13.5%)	16 (17.9%)	19 (20.6%)	21 (15.2%)	17 (15.3%)	10 (14.7%)	7 (13.2%)	4 (13.7%)	23 (19.8%)	4 (13.7%)	6 (9.4%)	16 (25.8%)	16 (16.6%)	13 (15.6%)	194 (19.2%)
50-59歳	42 (7.8%)	11 (12.3%)	9 (9.8%)	11 (8.0%)	5 (4.5%)	4 (5.9%)	0 (0.0%)	3 (10.3%)	13 (11.2%)	2 (6.9%)	6 (9.4%)	12 (19.3%)	4 (4.2%)	9 (10.8%)	119 (11.8%)
60-69歳	6 (1.1%)	2 (2.2%)	5 (5.4%)	7 (5.1%)	3 (2.7%)	1 (1.5%)	1 (1.9%)	1 (3.4%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (3.1%)	7 (11.2%)	4 (4.2%)	3 (3.6%)	30 (3.0%)
全体	540	89	92	138	111	68	53	29	116	29	64	62	96	83	1007

行動歴

- 男女とも約5割に行動歴があった
- 行動歴別にみると、「会食・飲み会」の約8割が20～30歳代であった。また、「宿泊」、「移動」、「イベント参加」、「イベント関連活動」においても約7割が20～30歳代であった。
- 50歳代で増える行動は、「文科系活動」、「スポーツ活動」、「医療」であり、60歳代で多い行動は、「医療」、「移動」であった。

表8. 年齢階級別発症後行動

(n = 1,998)

年齢	発症後行動あり (n=562)		発症後行動なし (n=1,436)
	発症日のみ	発症翌日以降	
20 – 29歳	126 (15.3%)	111 (13.5%)	584 (71.1%)
30 – 39歳	87 (15.6%)	63 (11.3%)	406 (73.0%)
40 – 49歳	55 (15.4%)	47 (13.2%)	255 (71.4%)
50 – 59歳	34 (16.3%)	29 (13.9%)	146 (69.9%)
60 – 69歳	4 (7.3%)	6 (10.9%)	45 (81.8%)
合計	306 (15.3%)	256 (12.8%)	1436 (71.9%)

表9. 年齢階級別発症日以降行動の詳細

(n = 256)

年齢	会食・飲み会	仕事（出勤） ・登校	外出等行動	宿泊・旅行
20－29歳 (n=821)	21 (2.5%)	78 (9.5%)	21 (2.5%)	5(0.6%)
30－39歳 (n=556)	11 (1.9%)	45 (8.1%)	6 (1.0%)	5(0.8%)
40－49歳 (n=357)	7 (1.9%)	31 (8.6%)	10 (2.8%)	3(0.8%)
50－59歳 (n=209)	7 (3.3%)	22 (10.5%)	3 (1.4%)	2(1.0%)
60－69歳 (n=55)	0 (0.0%)	6 (10.9%)	0 (0.0%)	0(0.0%)

表2. 性・年齢階級別発症後行動の有無（会食・飲み会）

(n = 540)

	発症後行動あり	発症後行動なし
性別		
男性	120 (38.8%)	189 (61.2%)
女性	90 (39.0%)	141 (61.0%)
年齢		
20-29	99 (39.4%)	152 (60.6%)
30-39	70 (41.7%)	98 (58.3%)
40-49	24 (32.9%)	49 (67.1%)
50-59	15 (35.7%)	27 (64.3%)
60-69	2 (33.3%)	4 (66.7%)
合計	210 (38.9%)	330 (61.1%)

発症後行動の特徴

- 20～50歳代においては、約3割の人に発症日以降の行動が認められ、60歳代でも約2割に認めた。
- また、発症日以降にも1割の人が行動をしており、その詳細としては仕事・登校が最も多かったが、中には宿泊や旅行をしている人もいた。

会食・飲み会に関する分析

2021年6月1日～7月18日 陽性者1,998人のうち
行動歴に会食・飲み会があった者 540人に対するサブ解析

方法

対象者：両区の陽性者1,998人のうち、疫学調査票の
行動歴に**会食・飲み会が1回でもあった陽性者 540人**

調査項目：性別、年代、職業、職種、同居の有無、国籍、発症後行動 など

分析：・各調査項目に関する記述疫学的分析

- ・対象者の中で、**1. 会食・飲み会の参加者人数、2. 会食・飲み会の回数**に着目し、積極的疫学調査の資料をもとに質的分析（テキスト分析）を行い、陽性者の行動や特徴を調べた。1、2の方法と定義については後述。
- ・補足として、**3. 会食・飲み会のうち、自宅で行ったか否か**に分けて自宅で開催した陽性者の特徴を調べた。

表 1. 対象者（会食・飲み会が1回でもあった陽性者）の属性

	男性 (n = 309)		女性 (n = 231)		合計 (n = 540)	
年齢						
20-29	133	43.0%	118	51.1%	251	46.5%
30-39	92	29.8%	76	32.9%	168	31.1%
40-49	51	16.5%	22	9.5%	73	13.5%
50-59	28	9.1%	14	6.1%	42	7.8%
60-69	5	1.6%	11	0.4%	6	1.1%
居住地						
A区	140	45.3%	110	47.6%	250	46.3%
B区	169	54.7%	121	52.4%	290	53.7%
国籍						
日本	278	90.0%	215	93.1%	493	91.3%
日本以外	30	9.7%	16	6.9%	46	8.5%
記載なし	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
同居						
あり	141	45.6%	101	43.7%	242	44.8%
なし	168	54.4%	130	56.3%	298	55.2%

表3. 1回あたりの会食・飲み会の最大参加人数が4人以上の状況（性別・年齢階級別）

	4人以上	3人以下	不明	合計
性別				
男性	136 (44.0%)	165 (53.4%)	8 (2.6%)	309
女性	73 (31.6%)	152 (65.8%)	6 (2.6%)	231
年齢				
20-29	104 (41.4%)	141 (56.2%)	6 (2.4%)	251
30-39	59 (35.1%)	106 (63.1%)	3 (1.8%)	168
40-49	25 (34.2%)	45 (61.6%)	3 (4.1%)	73
50-59	19 (45.2%)	21 (50.0%)	2 (4.8%)	42
60-69	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	6
合計	209 (44.0%)	317 (53.4%)	14 (2.6%)	540

表4. 1回あたりの会食・飲み会の最大参加人数が5人以上の状況（性別・年齢階級別）

	5人以上	4人以下	不明	合計
性別				
男性	92 (29.8%)	209 (67.6%)	8 (2.6%)	309
女性	45 (19.5%)	180 (77.9%)	6 (2.6%)	231
年齢				
20-29	65 (25.9%)	180 (71.7%)	6 (2.4%)	251
30-39	44 (26.2%)	121 (72.0%)	3 (1.8%)	168
40-49	16 (21.9%)	54 (74.0%)	3 (4.1%)	73
50-59	10 (23.8%)	30 (71.4%)	2 (4.8%)	42
60-69	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	6
合計	137 (25.4%)	389 (72.0%)	14 (2.6%)	540

分析 1. 会食・飲み会の参加者人数に関する分析

対象者：両区の陽性者1,998人のうち、疫学調査票の
行動歴に会食・飲み会が1回でもあった陽性者 540人

回数：積極的疫学調査の行動歴から情報を得た。対象者1人について、会食・飲み会が複数あった場合は、
最も多い参加人数を、当該対象者の参加した会食・飲み会の参加者人数とした。

分析：感染可能期間中の会食・飲み会について、

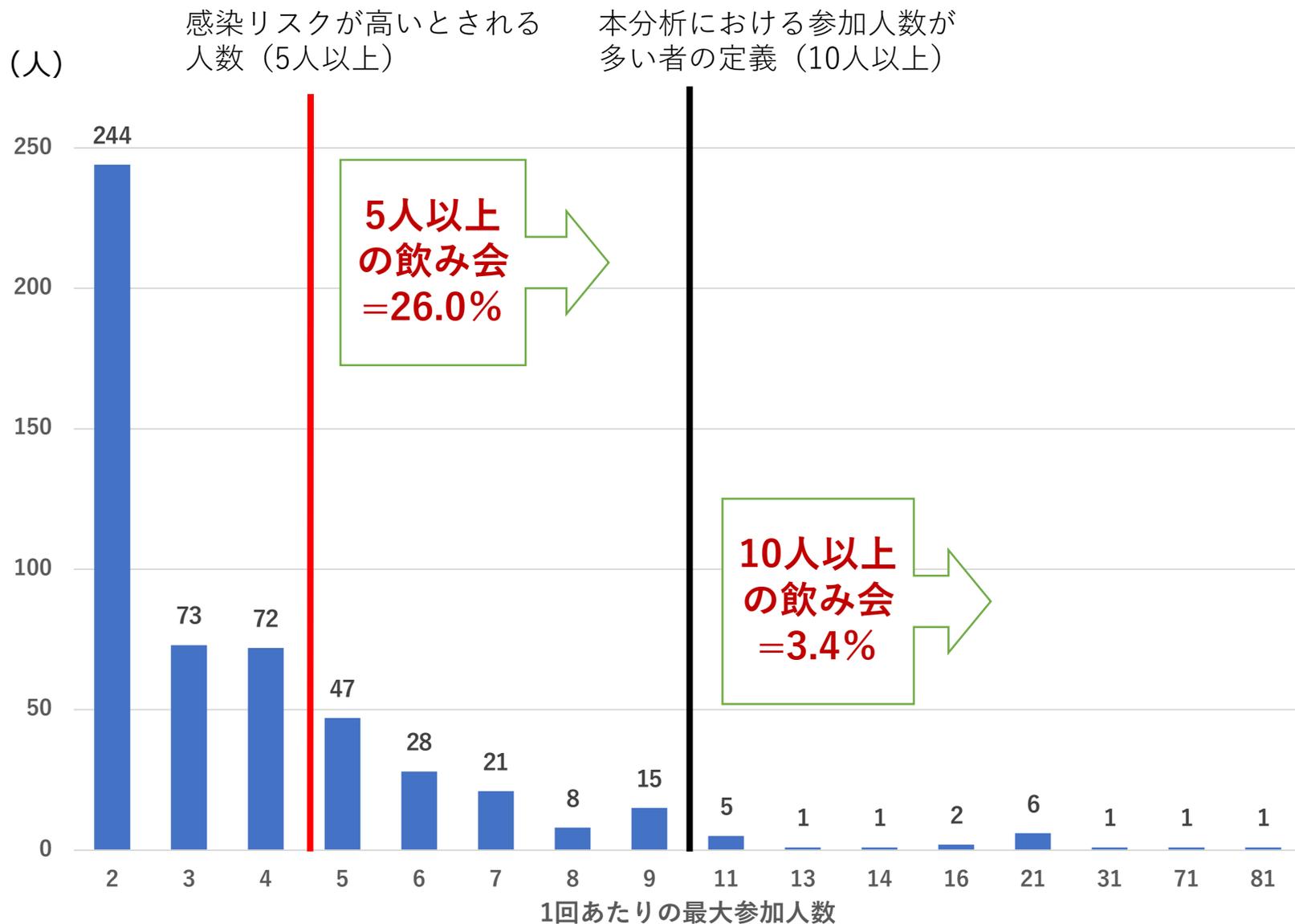
①参加者人数が多い：1度の会食・飲み会の参加人数が10人以上 (n=18)

②参加者人数不明：会食・飲み会の参加人数がわからない

(「複数名」、「覚えていない」等) (n=14)

①②の対象者について、積極的疫学調査の資料をもとに質的分析（テキスト分析）を行い、陽性者の行動や特徴を調べた。

図1. 会食・飲み会に1回における最大参加人数



(n=526)	
(人)	
平均値	4.1
(標準偏差)	(5.4)
中央値	3.0
[四分位]	[2, 5]

除外条件：会食・飲み会の参加人数が不明（「複数名」とだけ記載など）の14人

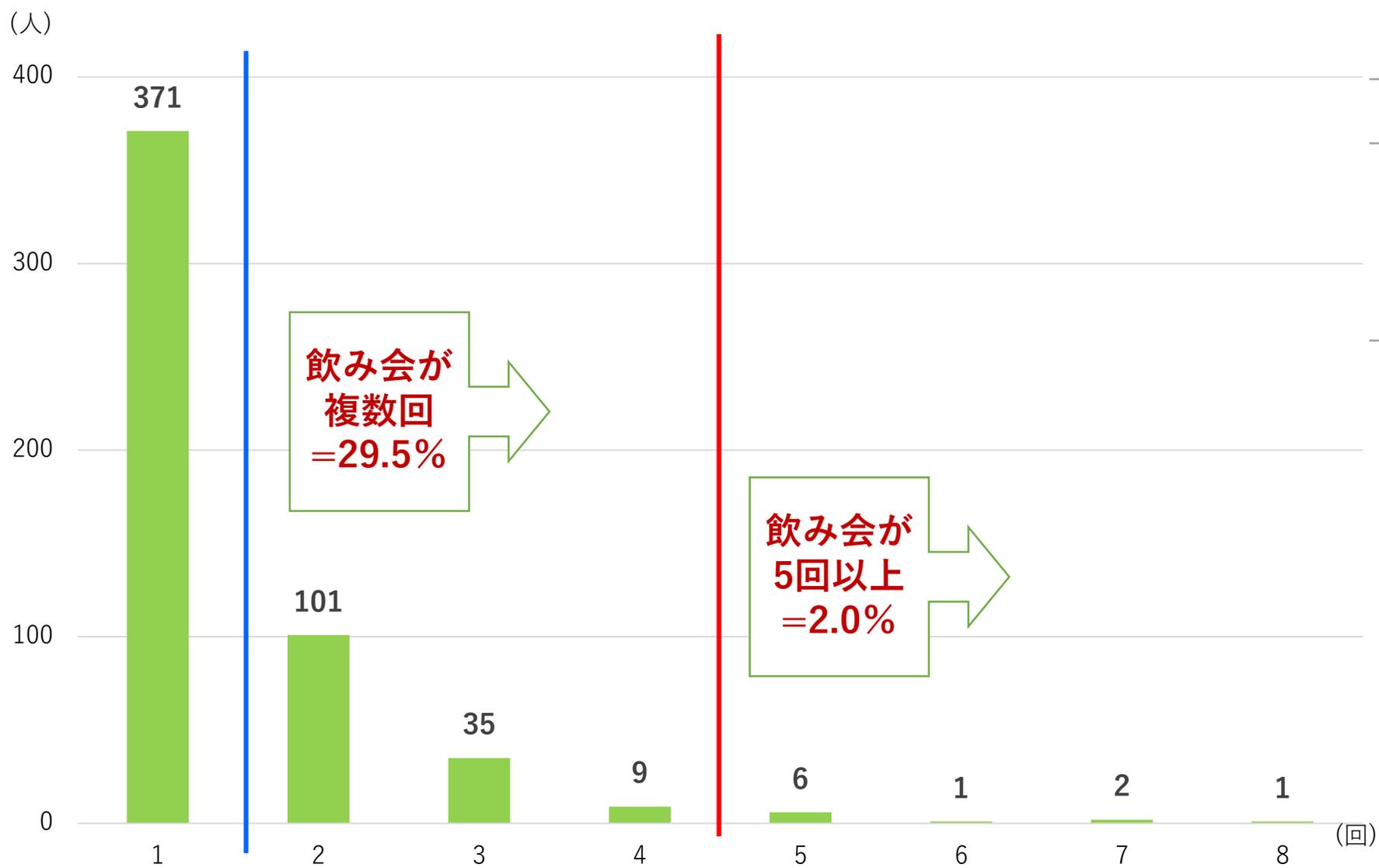
分析 1-① 会食・飲み会を10人以上と行った人の特徴

- ・ 男性が約7割（18人中13人が男性）であった。
- ・ 30代が最も多いが、年齢による差はみられない（20代5人、30代7人、40代5人）。
- ・ 職種では会社員が最多（18人中10人が会社員）。デスクワークや事務系、基本的に在宅勤務をしている者もあり、仕事以外の飲食が関連していた。
- ・ 同居の有無は、両者半数程度であった。
- ・ 約3割（5人）の人が発症後も行動していた。
- ・ 会食・飲み会人数が多くなった理由は、①冠婚葬祭（結婚式、親族との法要など）、②目的のある食事会（送別会、誕生日パーティ）、③ゴルフやイベントへの参加、④地方出張時などに大別された。
- ・ 感染可能期間に、会食・飲み会に加えて、ほかの行動も併せ持っていた者は、約3割（6人）であった。

分析 1 - ② 会食参加者数不明者の特徴

- 男性が多かったが、ほぼ同数（男性8人、女性6人）であった。
- 20代が最多（20代6人、30代3人、40代3人、50代2人）であったが、年齢階級はほぼ全世代に分布していた。特に、50代の2人は、複数回の会食を行っていた。
- 「誰か分からない人」と会食・飲み会をしている人が2人おり、不特定な、見知らぬ人と会食の機会があることが示された。
- 会社員は3名のみで、職業は多様であった（無職が3人、バーの店員2人、自営業・個人事業主4人、清掃員1人など）。
- 自営業については、特に人と近くで接する機会が多い職種が多かった。

図2. 会食・飲み会の回数



(n=526)

(回)	
平均値	1.5
(標準偏差)	(0.9)
中央値	1
[四分位範囲]	[1,2]

除外条件：会食・飲み会の参加回数が不明（「複数回」とだけ記載など）の14人

表5. 会食・飲み会の回数の状況（性別・年齢階級別）

	2回以上	1回	不明	合計
性別				
男性	76 (24.6%)	226 (73.1%)	7 (2.3%)	309
女性	79 (34.2%)	145 (62.8%)	7 (3.0%)	231
年齢				
20-29	74 (29.5%)	168 (66.9%)	9 (3.6%)	251
30-39	46 (27.4%)	119 (70.8%)	3 (1.8%)	168
40-49	20 (27.4%)	52 (71.2%)	1 (1.4%)	73
50-59	15 (35.7%)	27 (64.3%)	0 (0.0%)	42
60-69	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	6
合計	155 (28.7%)	371 (68.7%)	14 (2.6%)	540

注) 図2で示した中央値より、会食・飲み会の回数の多少を、2回以上と1回以下で分析した。

分析2. 会食・飲み会の回数に関する分析

対象者：両区の陽性者1,998人のうち、疫学調査票の
行動歴に会食・飲み会が1回でもあった陽性者 540人

回数：積極的疫学調査の行動歴から情報を得た。

分析：感染可能期間中の会食・飲み会について、

- ①参加回数が多い：5回以上参加 (n=10)
- ②参加回数不明：会食・飲み会の参加回数がわからない
(「複数回」、「覚えていない」等) (n=14)

①②の対象者について、積極的疫学調査の資料をもとに質的分析（テキスト分析）を行い、陽性者の行動や特徴を調べた。

分析 2 - ① 感染可能期間に会食・飲み会を5回以上行った者の特徴

- ・ 年齢階級では、20代が最多（20代6人、30代2人、40代1人、50代1人）であった。
- ・ 性別では、男性が多く、7割を占めていた（10人中7人が男性）。
- ・ 同居有無による違いはみられず、両者半数程度であった（同居あり4人、同居なし6人）。
- ・ 発症後行動は7割でみられた（発症後行動ありが7人、なしが3人）。
- ・ 本人が参加した会食・飲み会の人数規模は、多くても7-8人であり、小規模の会食を頻回行っていると考えられる。
- ・ 職業は、会社員が4人で最も多く、うち2人は、メディア関係、オンラインスポーツインストラクターであり、人と会う機会が多そうな業種であった。また、会社経営（会社立ち上げ中と起業家が2人、会社役員1人）であり、職業として人と会う機会が多い可能性がある。
- ・ 在宅勤務であるにもかかわらず、会食が頻回の者もいた。仕事は在宅勤務とはいえ、外出や会食・飲み会を行う者がいる。

分析 2 - ② 感染可能期間の会食・飲み会回数不明者の特徴

- ・ 男女人数は同数であった（男性7人、女性7人）。
- ・ 20代が最多（20代9名、30代3名、40代1名、60代1名）であり、若年層に多くみられた。
- ・ 一緒に会食した人数は2人未満がほとんど（10人中8人）であり、参加した回数は不明であるものの、小規模での会食・飲み会が頻回であった。
- ・ 職種としては、会社員は2人のみと少なく、飲食系の職種が多め（ホスト2名、バーテンダー1名）であるのが特徴的であった。
- ・ 無職2人、無職（事業開始予定）1人、自営業（保険証なし）、ダブルワーク（アパレル会社員とテレワーク事務）など、仕事についても不安定な生活を送っている人の可能性がある。

表6. 自宅で行った会食・飲み会の状況（性別・年齢階級別）

	自宅以外での 会食・飲み会	自宅での 会食・飲み会	合計
性別			
男性	283 (91.6%)	26 (8.4%)	309
女性	200 (86.6%)	31 (13.4%)	231
年齢			
20-29	223 (88.8%)	28 (11.2%)	251
30-39	147 (87.5%)	21 (12.5%)	168
40-49	69 (94.5%)	4 (5.5%)	73
50-59	38 (90.5%)	4 (9.5%)	42
60-69	6 (100.0%)	0 (0.0%)	6
合計	483 (89.4%)	57 (10.6%)	540

分析3 自宅での会食・飲み会をしていた人の特徴

- ・ 20代、30代の会食・飲み会の約1割が、自宅での会食・飲み会であった。
※飲食店以外での会食が可能である若年層では比較的多い。
- ・ 若年層と比べ、60代では自宅での会食・飲み会をしていた人は、分析対象者では皆無であった。
- ・ 女性は56%（57人中32人）で、男女に大きな違いはなかった。

図表外の詳細情報より

- ・ 自宅での会食・飲み会を行っていた人のうち、同居ありは42%（57人中24人）であり、同居の有無による違いは大きくなかった。家族ぐるみ、あるいは友人のみなど、さまざまなパターンでの自宅の会食・飲み会が考えられる。
- ・ 自宅での会食・飲み会のうち、5人以上で行っていたのは、約3割（19人）であり、男女比は半々であった。自宅でも感染リスクが高い人数での会食・飲み会を開催していることが示された。

イベント参加に関する分析

2021年6月1日～7月18日 陽性者1,998人のうち
行動歴にイベント参加があった者 68人に対するサブ解析

方法

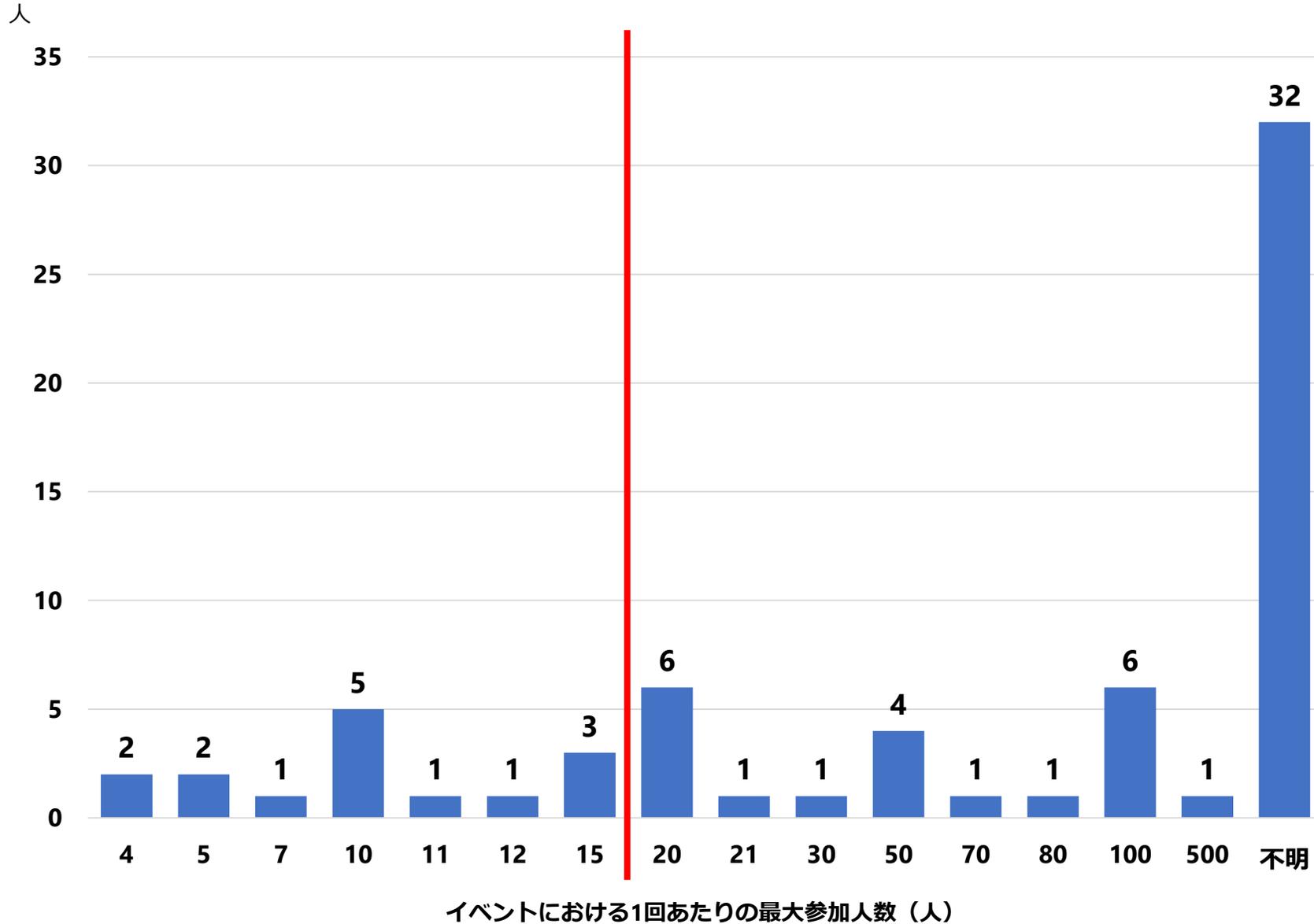
対象者：両区の陽性者1,998人のうち、疫学調査票の行動歴に
イベント参加があった陽性者 68人

調査項目：性別、年齢、職種、発症日、マスクの着用、他の行動歴など

分析：

- ・各調査項目に関する記述疫学分析
- ・分析1 1回あたりのイベント参加人数が多い（20人以上）陽性者
- ・分析2 イベント参加含め行動歴が多い（3回以上）陽性者の特徴を把握する

図1. イベント1回あたりの最大参加人数



(n=68)

(人)

平均値 (標準偏差)	49 (84.5)
中央値 (四分位)	20 [10,55]

1回あたりの最大参加人数の分類

多い：20人以上
少ない：19人以下

表1. 対象者の特徴（イベント参加）

	男性 (n=41)		女性 (n=27)		合計 (n=68)	
年齢階級						
20－29歳	16	39.0%	9	33.3%	25	36.8%
30－39歳	17	41.5%	11	40.7%	28	41.2%
40－49歳	7	17.1%	3	11.1%	10	14.7%
50－59歳	1	2.4%	3	11.1%	4	5.9%
60－69歳	0	0.0%	1	3.7%	1	1.5%
同居の有無						
あり	21	51.2%	19	70.4%	40	58.8%
なし	20	48.8%	8	29.6%	28	41.2%
所在地						
A区	18	43.9%	12	44.4%	30	44.1%
B区	23	56.1%	15	55.6%	38	55.9%
国籍						
日本	38	92.7%	27	100.0%	65	95.6%
日本以外	3	7.3%	0	0.0%	3	4.4%
発症後行動						
あり	19		8		27	
なし	22		19		41	

分析1

イベントにおける最大参加人数が多い人の特徴まとめ（対象者21人）

- 性別では男性がやや多く（14人）、約9割（18人）が40歳未満であった。
- 最大参加人数が 20人以上となるイベントは、ダンス大会、ライブ、パーティー、結婚式、研修、交流会等であった。特に100人以上の規模となるとパーティ、ダンスイベント、ライブ、結婚式であり、7人が該当していた。
- 50人以下のイベントでは、主にライブやピアノ発表会など音楽に関連するイベントが多かった。
- イベント参加以外の行動として友人と会食、宿泊、旅行等の行動を13人（61.9%）がっており、行動が非常に活発でもあった。
- 最大参加人数が多い人は、ほかの行動歴3回以上が約4割（9人）であった。
- 発症日から考えると対象者の半数（11人）は緊急事態宣言以降のイベント参加であったことが示唆される。

分析2

イベント参加を含め行動歴が多い人の特徴まとめ（対象者21人）

- 男性の方が多いが、ほぼ同数（男性12人、女性9人）
- 年齢としては40歳未満が約7割（15人）であった。
- 参加していたイベント
 - パフォーマンス（ダンスイベント、ライブ）
 - 冠婚葬祭（結婚式、パーティー、誕生会）
 - 仕事や学校（研修、展示会、学校行事等）
- その他の行動では、サロン、マッサージ、エステ等の美容関連、ジム、ダンス、ゴルフといったスポーツ活動を実施していた。
- **総行動数は、最多が9回（3人）であり、5回以上も13人で半数以上であった。**

イベント関連活動に関する分析

2021年6月1日～7月18日 陽性者1,998人のうち
イベント関連活動があった者 53人に対するサブ解析

方法

対象者：両区の陽性者1,998人のうち、疫学調査票の行動歴に
イベント関連活動があった陽性者 53人

調査項目：性別、年齢、職種、他の行動歴、マスクの有無など

分析：各調査項目に関する記述疫学分析

表1. 対象者の属性（イベント関連活動）

	男性 (n=27)		女性 (n=26)		合計 (n=53)	
年齢階級						
20－29歳	12	44.4%	14	53.8%	26	49.1%
30－39歳	8	29.6%	11	42.3%	19	35.8%
40－49歳	7	25.9%	0	0.0%	7	13.2%
50－59歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
60－69歳	0	0.0%	1	3.8%	1	1.9%
同居の有無						
あり	9	33.3%	7	26.9%	16	30.2%
なし	17	63.0%	19	73.1%	36	67.9%
不明	1	3.7%	0	0.0%	1	1.9%
所在地						
渋谷区	15	55.6%	14	53.8%	29	54.7%
新宿区	12	44.4%	12	46.2%	24	45.3%
国籍						
日本	27	100.0%	25	96.2%	52	98.1%
日本以外	0	0.0%	1	3.8%	1	1.9%

表2. 性・年齢階級別発症後行動（イベント関連活動）

	発症後行動あり (n=24)	発症後行動なし (n=29)	合計 (n=53)
性別			
男性	12 (50.0%)	15 (51.7%)	27
女性	12 (50.0%)	14 (48.2%)	26
年齢			
20-29歳	16 (66.7%)	10 (34.5%)	26
30-39歳	7 (29.1%)	12 (41.4%)	19
40-49歳	1 (4.2%)	6 (20.7%)	7
50-59歳	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0
60-69歳	0 (0.0%)	1 (3.4%)	1

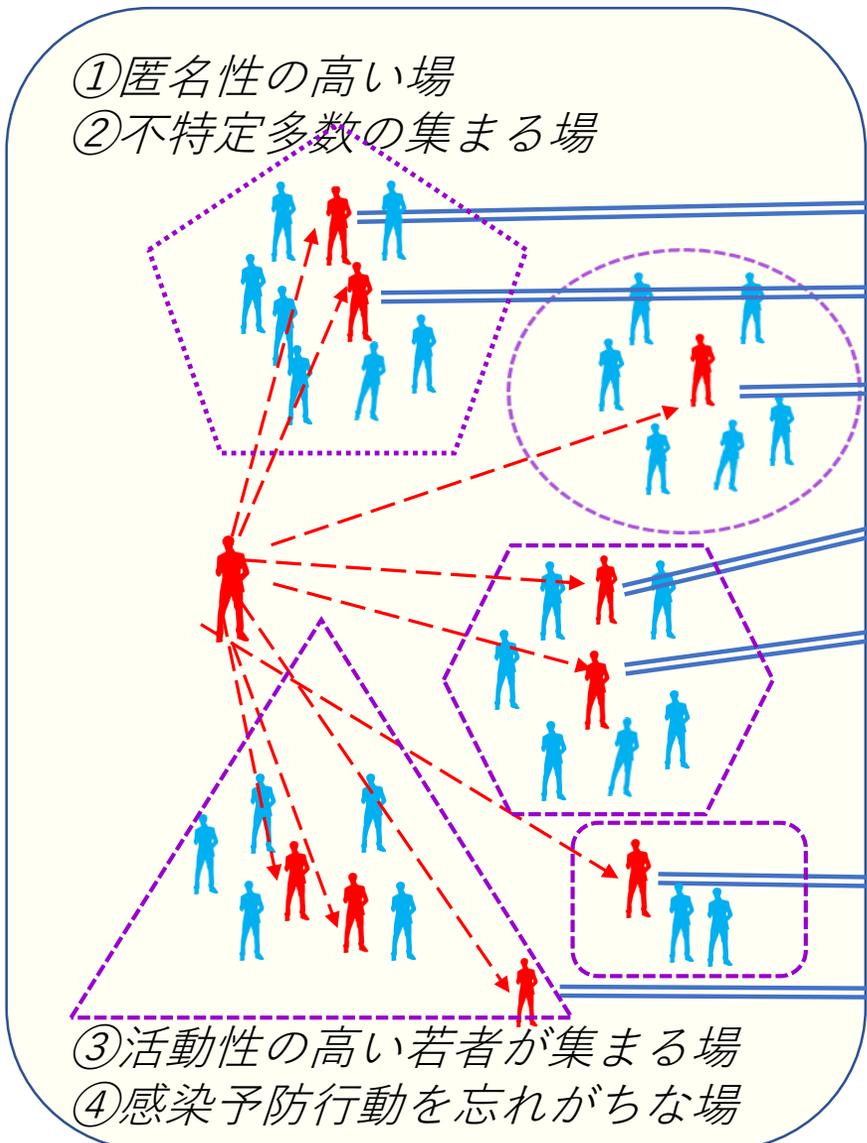
イベント関連活動をしていた人の特徴まとめ（対象者53人）

- 年齢としては20代、30代が多く、男女差は見られなかった。
- 職種では芸能関係者とイベント・メディア関係会社の社員やスタッフが大多数だった。
- 20～200名規模のイベントに関わる者の大半は芸能関係者であり、職業柄多くの人と関わる機会が多いと考えられる。また、イベント関連活動では多くの関係者が関与しているケースも認められた。また、イベント関連活動に伴い、関係者と会食をしているケースも認められた。
- また、マスクの着用が不十分なケースが多く、その大半が芸能関係者であった。舞台や撮影などでマスクを外す場面が多いと推察される。

積極的疫学調査の深堀（まとめ）①

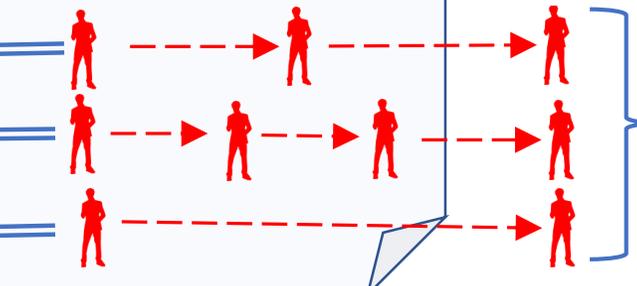
- 特に20～30歳代の一部には、10人以上あるいは5回以上の「会食・飲み会」の行動歴を認め、非常に活動が活発な人たちが存在していた。
- 「会食・飲み会」は必ずしも飲食店だけではなく、自宅でもおこなっていた。
- 約3割の人は発症日も含めて出勤や登校、外出、会食・飲み会の行動歴があり、発症後（体調不良時）の行動自粛の喚起が重要である。
- 感染拡大が先行した地域には、一部に多重的に感染リスク行動を行う陽性者が存在することが明らかになった。
- ただし、今回の調査で明らかとなった行動が活発な人が感染増加に寄与していると推定されるが、本調査結果のみではあくまで仮説であり、今後その検証が必要である。

大都市における透明なクラスター



⑤無症状のため感染の自覚なく、検査を受けない。

感染者届出



様々な理由からクラスター発生場所の探知ができない

二次、三次感染のため関連性が特定できない

発症せず感染の認識なし

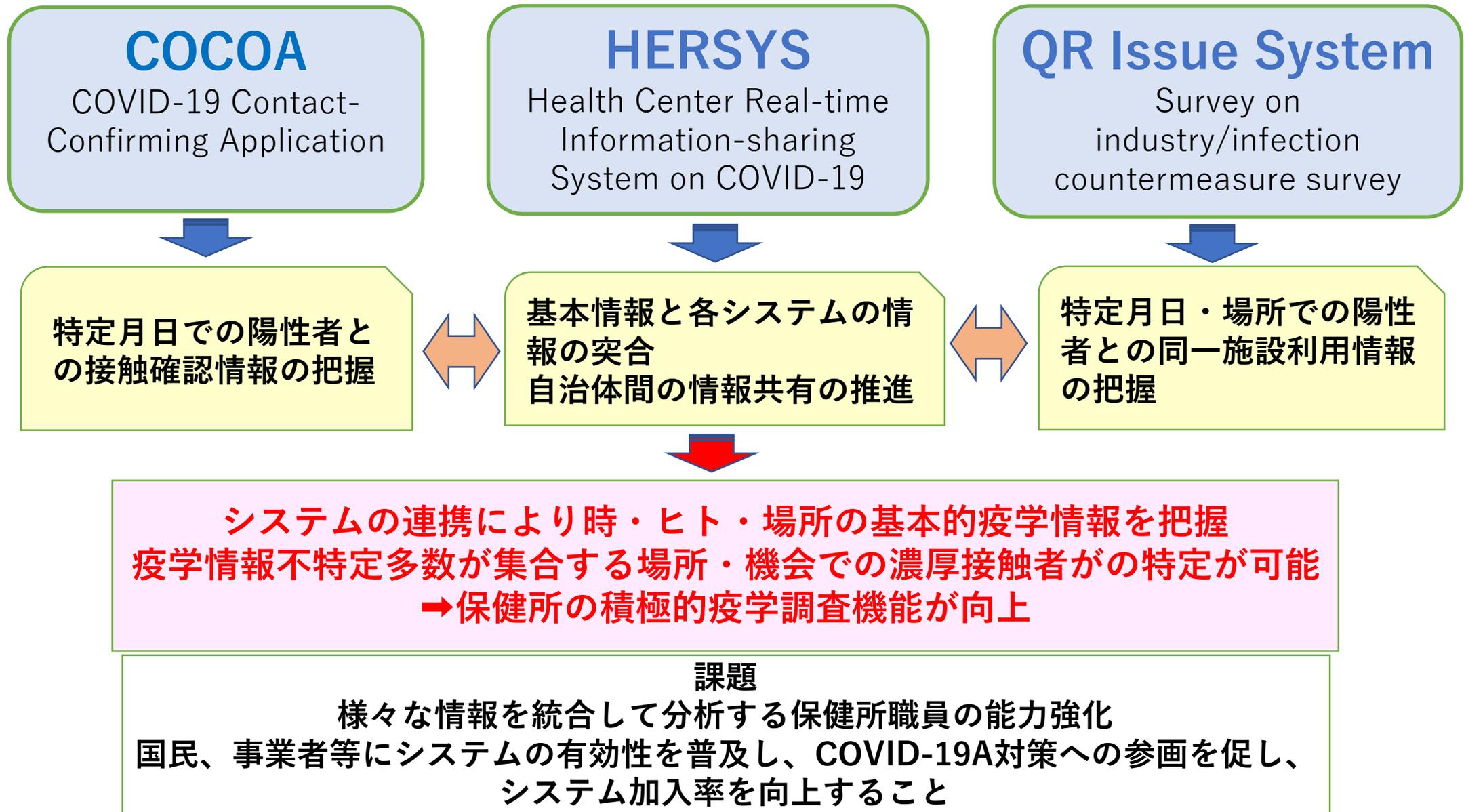
個人的事情により行動歴申告せず

A区届出
B市届出

面識ある同行者がいないため感染場所と特定できず

届出保健所が異なるため同一場所での感染と特定できず

システムの連携による解決策



積極的疫学調査の深掘（まとめ）②

- 匿名性の高い大都市部の生活環境において、こうしたグループの積極的疫学行動を保健所の実地疫学的手法のみにより調査することは容易ではない。
- ICTシステムの活用等により保健所の積極的疫学調査機能の向上を図ることが必要である。
- さらに、こうした大都市部に存在する多重的に感染リスク行動をとるグループに対する効果的な普及啓発方策の開発が必要である。